

各主体の環境学習等に関する取組状況のアンケート結果

1 目的

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律（平成 15 年法律第 130 号）第 8 条の規定に基づき平成 25 年 2 月に策定した愛知県環境学習等行動計画の進捗状況を把握するために、県民・事業者・NPO・市町村・学校を対象に環境学習等に関する取組状況についてアンケートを実施した。（表 1）

表 1 アンケート実施概要

アンケート先	県民	無作為に抽出した県内在住の 20 歳以上の男女 3,000 人（県政世論調査）
	事業者	環境パートナーシップ・CLUB の一般会員 246 者及 び名古屋商工会議所の名商 eco クラブ会員 140 者
	NPO	愛知県知事又は名古屋市長を所轄庁とする特定非営利活 動法人のうち、環境の保全を図る活動を行うもの 427 団体
	市町村	県内全市町村 54 市町村
	学校	・愛知県内の幼稚園 421 園、 ・小学校 719 校、中学校 349 校、高等学校 205 校 及び特別支援学校 29 校 ・愛知県内の大学（短期大学を含む。）72 校
アンケート期間	平成 25 年 9 月 30 日(月)から 10 月 16 日(水)まで (県民向けは平成 25 年 9 月 1 日(日)から 9 月 20 日(金)まで)	
回答方法	インターネット又はファクシミリ（県民向けは郵送）	

2 アンケートの回答数、回答率

アンケートへの各団体からの回答数・回答率は表 2 のとおりである。

表 2 アンケートの回答数及び回答率

県民	1,578 人 (52.6%)
事業者	64 者 (16.6%)
NPO	91 団体 (21.3%)
市町村	54 市町村 (100%)
学校	1,245 校 (69.4%)
幼稚園	119 校 (28.3%)
小学校	599 校 (83.3%)
中学校	263 校 (75.4%)
高等学校	180 校 (87.8%)
特別支援学校	26 校 (89.7%)
大学	58 校 (80.6%)

3 各主体別アンケート結果（抜粋）と課題

< 県民 >

【アンケート結果（抜粋）】

取り組んでいる環境保全活動として、「ごみの分別（85.8%）」や「買い物袋を持参したり、過剰包装を断る（80.0%）」は実施している方は8割を超えているが、「調理くずや油を排水と一緒に流さない（47.8%）」、「冷暖房を控えるなどの節電をする（46.6%）」、「エコカー・省エネ家電を選ぶ（33.5%）」、「環境に配慮した日用品を選ぶ（32.3%）」、「自動車に頼りすぎず電車やバスを利用する（16.7%）」などが5割を下回っている。

参加したことがある環境学習・環境保全活動については、「資源回収（25.5%）」や「清掃活動（24.2%）」に比べ、「自然観察会や自然保護活動（3.2%）」や「環境学習講座（2.0%）」は少ない。また、「機会があれば参加したいが、参加したことがない（39.4%）」と「参加したいと思わないし、参加したこともない（23.3%）」を合計すると参加したことがない方が6割を超える。

家庭における環境学習について、「実施したことがない」が一番多く42.8%であった。

環境学習に関して、県民が考える県が重点的に取り組むべきことは、「学校や幼稚園等における環境学習の充実」が54.8%で最も高かった。

【課題】

a アンケート結果 によると、ごみの分別や資源回収など世間の目が気になるような活動（協議会における意見に基づき削除）については実施する割合が高いが、自然観察会や環境学習といった自主性が求められる活動（協議会における意見に基づき削除）については十分には参加できていない。

b アンケート結果 によると、学習効果が大きいと期待される、親子など家族で行う環境学習の実施が不十分である。

< 事業者 >

【アンケート結果（抜粋）】

環境負荷の取組、環境に配慮した製品の提供は93.8%の事業者が実施していた。

環境マネジメントシステムを導入している事業者は87.5%であった。

社員教育として環境学習を実施している事業者は93.4%であった。

地域に対して実施している環境学習・環境保全活動は、「地域清掃」が76.6%で特に多かったが、地域の方と一緒に実施したり、地域の方に参加してもらったりするような環境学習や環境保全活動は、最も多いものでも31.3%の「工場などの施設を利用した環境教育・環境学習」であった。

【課題】

a アンケート結果 によると、事業者において環境学習の取組が積極的に進められていることが示されているが、386者のうち回答が64者であったことから、

この結果から事業者全体の動向を示しているとは断定できない。

b アンケート結果 によると、地域の方と一緒に実施したり、参加してもらったりする環境学習や環境保全活動の取組が不十分である。

< N P O >

【アンケート結果（抜粋）】

環境学習や環境保全活動を実施したN P Oは79.1%である。

環境学習や環境保全活動を実施した回数は年間10回以下が55.6%で最も多いが、41.6%は年間11回以上実施している。

他主体との連携・協働は94.4%が実施している。連携先は「他のN P O(45.8%)」、「事業者(43.1%)」、「行政(40.3%)」と続き、連携・協働が期待される学校等は「小学校(27.8%)」、「中学校(19.4%)」、「幼稚園等(9.7%)」、「高等学校(9.7%)」の順であった。

【課題】

a アンケート結果 によると、N P Oにおける環境学習・環境保全活動は様々な分野で実施しており、地域の環境学習・環境保全活動の推進において重要な役割を担っていることが伺えるが、学校や幼稚園等との連携・協働が十分には進んでいない。特に高等学校と幼稚園が少ない。

< 市町村 >

【アンケート結果（抜粋）】

地域の特性を活かした環境学習や環境保全活動を実施した市町村は54市町村中40市町村(74.1%)であった。

環境学習を実施する他主体への支援(広報、講師派遣、活動費補助等)を実施したのは35市町村(64.8%)であった。

環境学習指導者等の人材育成を実施したのは11市町村(20.4%)であった。そのうちコーディネーターの育成をしたのは1市町村のみであった。

職員に対して環境学習を実施したのは23市町村(42.6%)であった。

環境学習に関する行動計画を策定している、または策定を予定しているのは25市町村(46.3%)であった。

【課題】

a アンケート結果 によると、地域の課題を活かした環境学習を実施しなかったのが14市町村あり、全ての市町村で実施されていない。

市町村へのヒアリングによると、環境学習等の事業が実施できない市町村は、人手が足りない、予算がない、企画・実施のノウハウがない、環境学習施設がないなどが主な原因である。また、環境担当課ではなく、生涯学習担当課や他の部署が実施している場合があり、連携できていなかったり、情報を把握していなかったりすることがある。この他、多くの学校で実施しているごみ処理施設の工場見学は、ごみ処理を一部事務組合で実施している場合は、環境担当課が関与できていない。

b アンケート結果 によると、環境学習を実施する各主体への支援(広報、講師派遣、活動費補助等) をしなかったのが 19 市町村あり、全ての市町村で実施されていない。

市町村へのヒアリングによると、NPO や企業の連携・協働についても連携先がない、情報が無いといったことが原因で進んでいない。

c アンケート結果 によると、環境学習に関する計画等の策定を予定していないのが 29 市町村あり、全体の半数以上を占める。

< 幼稚園・保育所・認定こども園 >

【アンケート結果(抜粋)】

98.3% の幼稚園で何らかの五感を使う自然体験をさせているが、積極的に実施したと回答したのは 62.2% であった。

自然体験をする場所としては、「園内の花壇やビオトープ等 (68.9%) 」が「近隣の公園、川、林などの地域の自然 (72.3%) 」の次に多く、園内でも自然体験できることが伺える。また、収穫体験などの農作業といった回答も目立った。

自然体験の実施頻度は「年 3 ~ 5 回 (36.0%) 」が最も多く、次に多かったのが「月 1 回程度 (25.6%) 」であった。

昨年度 1 年間に、環境教育に関する研修に参加した幼稚園は 22.7% であった。

外部講師など他主体と連携したのは 57.1% であった。

【課題】

a アンケート結果 によると、園内の植物等との触れ合いから、近隣での自然体験や芋掘り等の畑での収穫体験まで幅広い自然体験が実施されているが、愛知県私立幼稚園連盟へのヒアリングによると、幼稚園教員等も忙しいことから、準備に時間がかかる実体験を伴う環境教育を実施することは厳しい状況にある。

< 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 >

【アンケート結果(抜粋)】

実体験を取り入れた環境教育は、小学校で 99.2%、中学校で 92.0%、高等学校で 73.9%、特別支援学校で 96.2% が実施している。

安全・安心に関する環境教育は、小学校で 94.8%、中学校で 81.0%、高等学校で 78.9%、特別支援学校で 92.3% が実施している。

環境教育に関する研修は、小学校で 34.6%、中学校で 36.6%、高等学校で 32.8%、特別支援学校で 50.0% が参加している。

E S D について環境教育を意識して実施したのは、小学校で 37.9%、中学校で 33.1%、高等学校で 21.1%、特別支援学校で 7.7% であった。

P T A、家庭等との連携は、小学校で 73.6%、中学校で 71.8%、高等学校で 37.8%、特別支援学校で 46.2% が実施している。

環境教育実施における外部との連携は、小学校で 68.6%、中学校で 35.0%、高等学校で 37.2%、特別支援学校で 46.2% が実施している。

【課題】

- a アンケート結果 によると、実体験を取り入れた環境教育や安全・安心に関する環境教育は大半の学校で実施されているが、アンケート結果 によると、E S Dを意識して環境教育を実施している学校が依然として少ない。
- b アンケート結果 によると、外部との連携は小学校で高く、中学校、高校では低い状況にある。

< 大学 >

【アンケート結果（抜粋）】

環境教育、環境保全活動、E S Dに関する研究室を持つ大学は 39.7% (23 校)であった。

環境教育を実施した大学は 48.3% (28 校)であった。

環境教育を実施した大学 (28 校)のうち、他主体と連携して環境教育を行ったのは 85.7% (24 校)であった。連携先としては行政 (60.7%) が最も多かったが、学校や幼稚園等は少なかった。(小学校 7.1%、中学校 10.7%、高等学校 14.3%、幼稚園等 14.3%)

教員養成カリキュラムがある大学において、環境教育の指導方法を教授する授業を実施したのは 46 大学中 11 大学 (23.9%) であった。

【課題】

- a アンケート結果 によると、環境教育を実施していない大学が 51.7% (30 校)で半数以下に留まった。
- b アンケート結果 によると、環境教育の実施にあたって、学校や幼稚園等と連携して行った大学が少ない。
- c アンケート結果 によると、教員養成時に環境教育の指導方法を教授する授業を実施している大学が少ない。

4 各主体別アンケート結果の詳細

県民

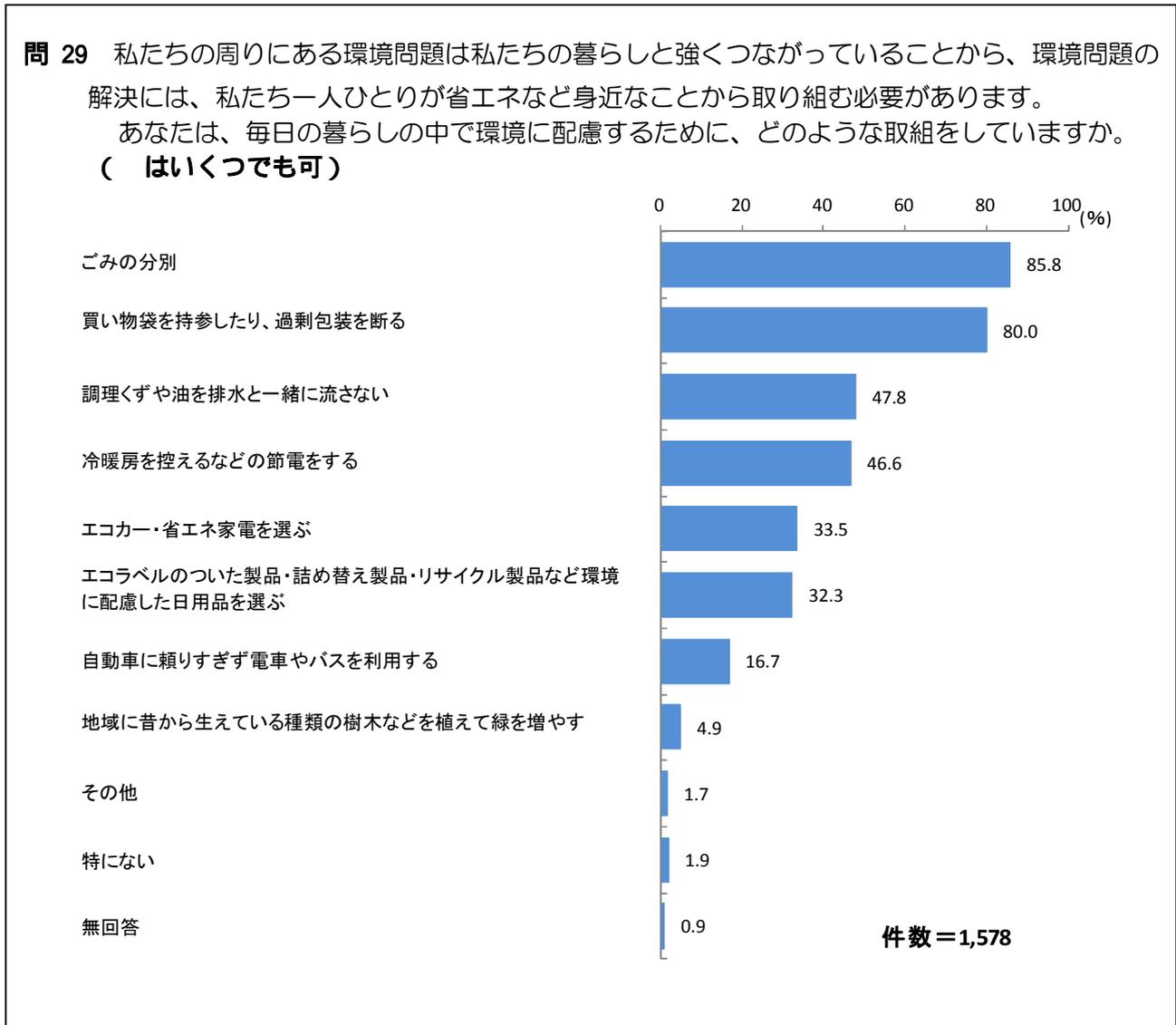
愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果

(平成25年度第2回県政世論調査において実施)

- 1 調査対象 愛知県内に居住する20歳以上の男女 3,000人
- 2 回答者数 1,578人(回収率 52.6%)

(1) 取り組んでいる環境保全活動

「ごみの分別」が85.8%

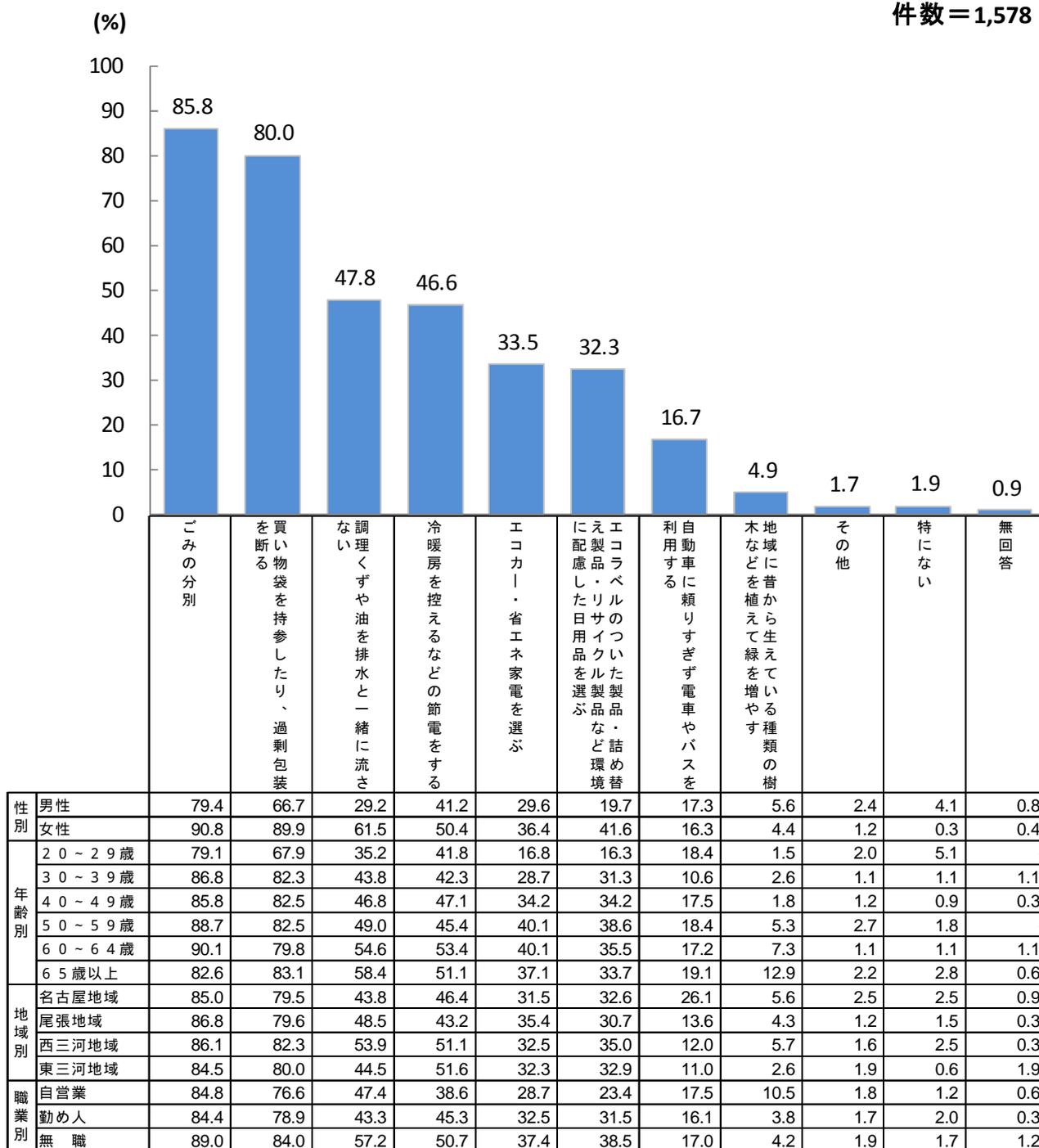


取り組んでいる環境保全活動について、「ごみの分別」と答えた人の割合が85.8%で最も高く、次いで「買い物袋を持参したり、過剰包装を断る」(80.0%)、「調理くずや油を排水と一緒に流さない」(47.8%)、「冷暖房を控えるなどの節電をする」(46.6%)の順になっている。

取り組んでいる環境保全活動（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◇ 性別で見ると、「ごみの分別」と答えた人の割合は、男性（79.4%）より女性（90.8%）で11.4ポイント高くなっている。また、「調理くずや油を排水と一緒に流さない」と答えた人の割合は、男性（29.2%）より女性（61.5%）で32.3ポイント高くなっている。
- ◇ 年齢別で見ると、「ごみの分別」と答えた人の割合は、60～64歳（90.1%）で高く、20代（79.1%）で低くなっている。
- ◇ 地域別で見ると、「調理くずや油を排水と一緒に流さない」と答えた人の割合は、西三河地域（53.9%）で高く、名古屋地域（43.8%）で低くなっている。
- ◇ 職業別で見ると、「調理くずや油を排水と一緒に流さない」と答えた人の割合は、無職（57.2%）で高く、勤め人（43.3%）で低くなっている。

件数 = 1,578



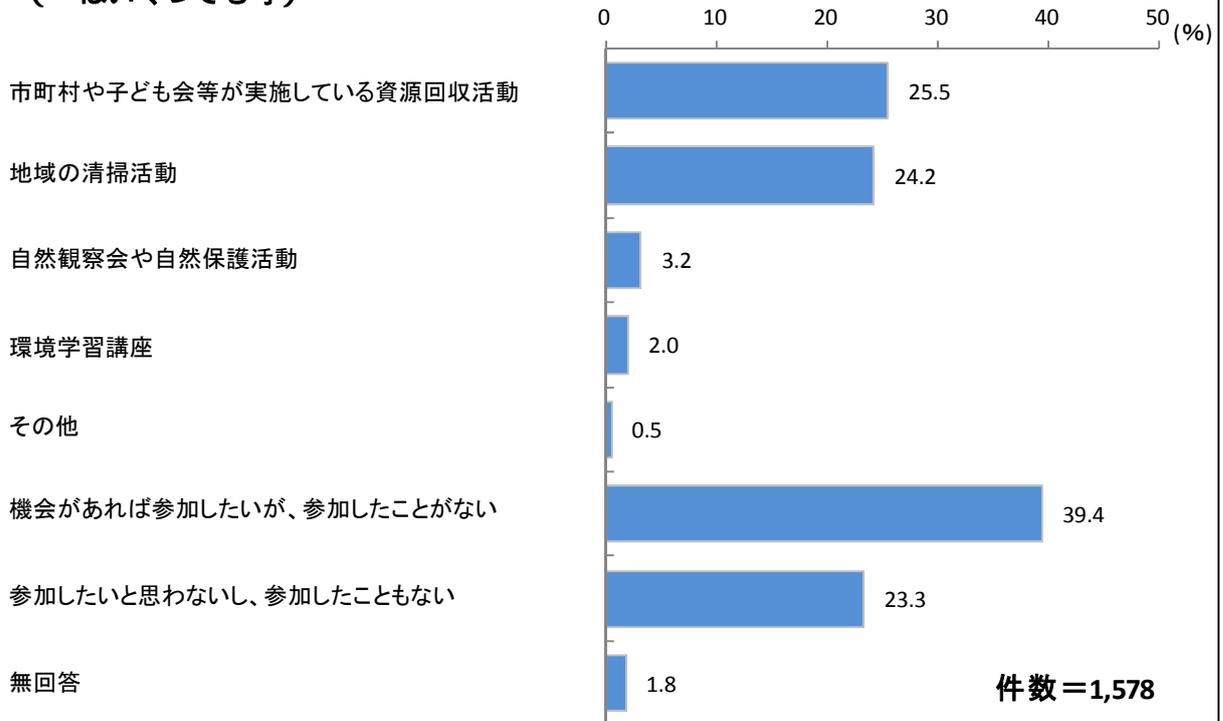
(2) 参加したことがある環境学習や環境保全活動

「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」が25.5%

問 30 愛知県では、「あいち環境学習プラザ」(名古屋市中区)や愛・地球博記念公園にある「もりの学舎」(長久手市)などの環境学習施設で様々な環境学習を実施しています。この他にも市町村や様々な団体が環境学習や環境保全活動(自然保護活動・地域の清掃活動など)を実施しています。

あなたはこれまで、どのような環境学習や環境保全活動に参加したことがありますか。

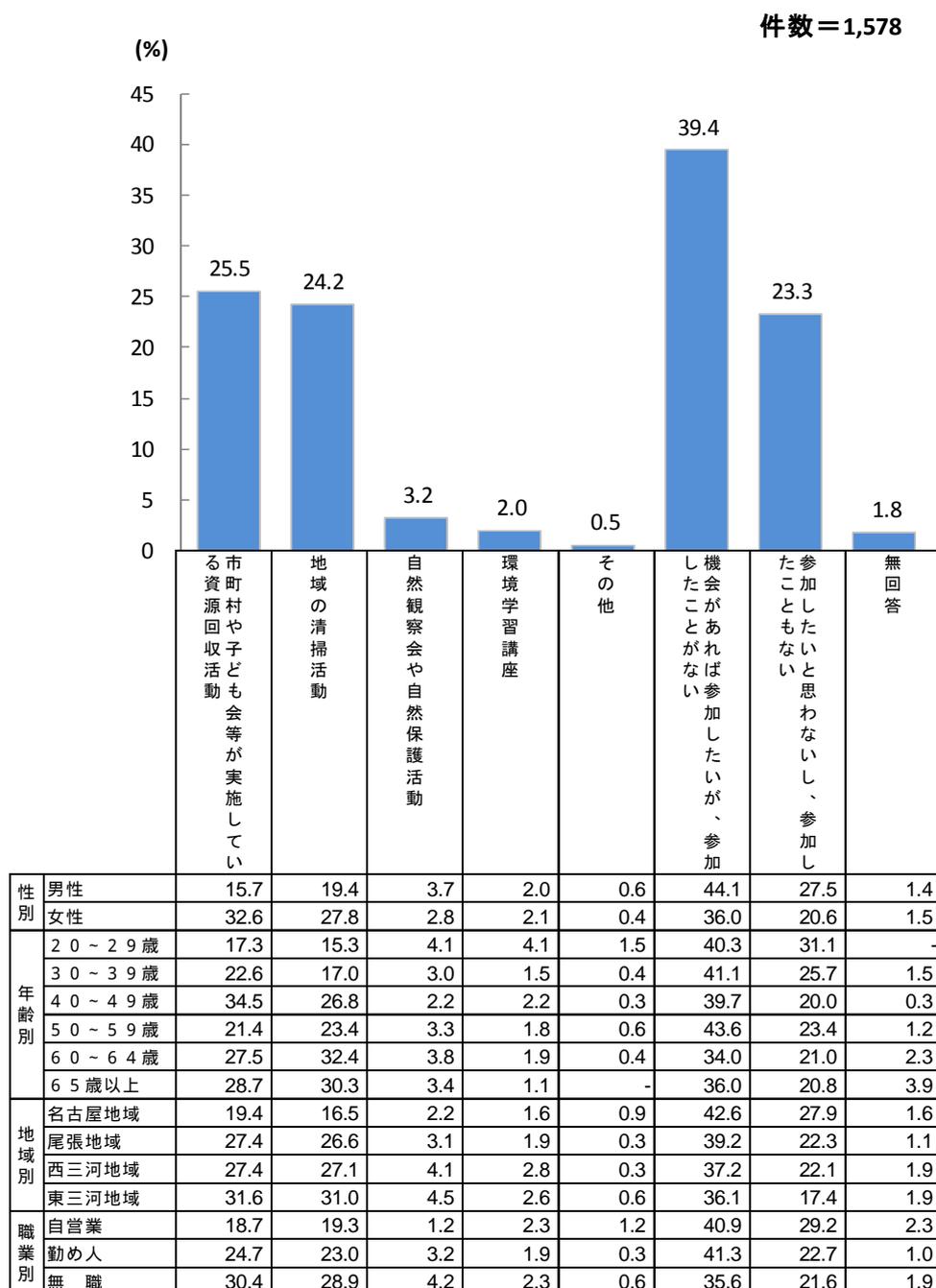
(はいくつでも可)



参加したことがある環境学習や環境保全活動について、「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」と答えた人の割合が25.5%で最も高く、次いで「地域の清掃活動」(24.2%)の順となっている。一方で、「機会があれば参加したいが、参加したことがない」と答えた人の割合は39.4%、「参加したいと思わないし、参加したこともない」と答えた人の割合は23.3%となっている。

参加したことがある環境学習や環境保全活動（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◇ 性別で見ると、「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」と答えた人の割合は、男性（15.7%）より女性（32.6%）で16.9ポイント高くなっている。
- ◇ 年齢別で見ると、「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」と答えた人の割合は40代（34.5%）が高く、20代（17.3%）で低くなっている。
- ◇ 地域別で見ると、「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」と答えた人の割合は東三河地域（31.6%）が高く、名古屋地域（19.4%）で低くなっている。
- ◇ 職業別で見ると、「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」と答えた人の割合は無職（30.4%）が高く、自営業（18.7%）で低くなっている。



(3) 環境学習や環境保全活動の情報入手先

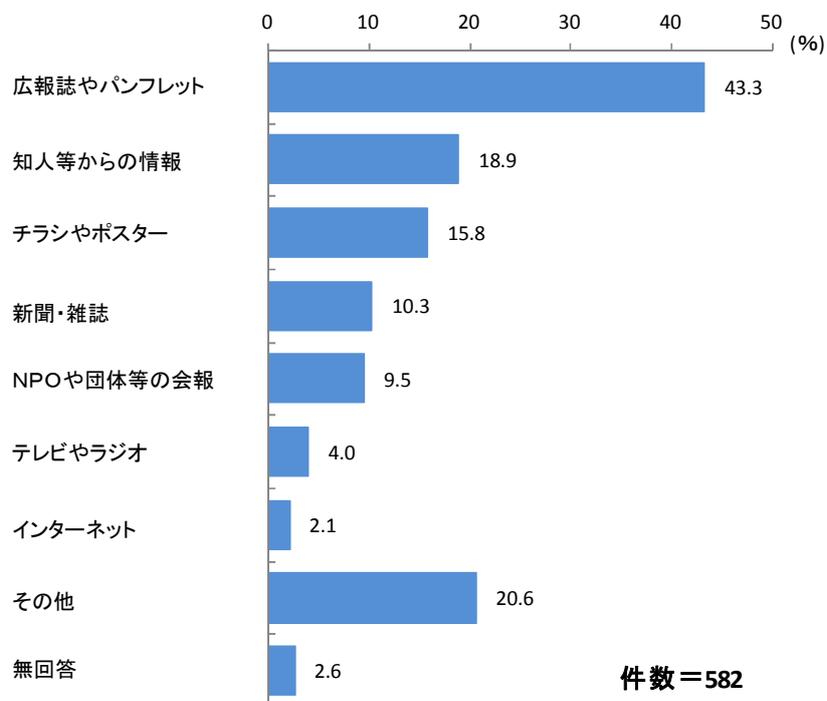
「広報誌やパンフレット」が43.3%

問31 《問30で1～5に○をつけた方にお尋ねします。》

愛知県では、「あいち環境学習情報ライブラリー」というホームページで環境学習の開催状況等の情報を発信したり、新聞等の各種メディアで広報を行っています。

あなたは、ご自身が参加した環境学習や環境保全活動をどうやって知りましたか。

(はいくつでも可)



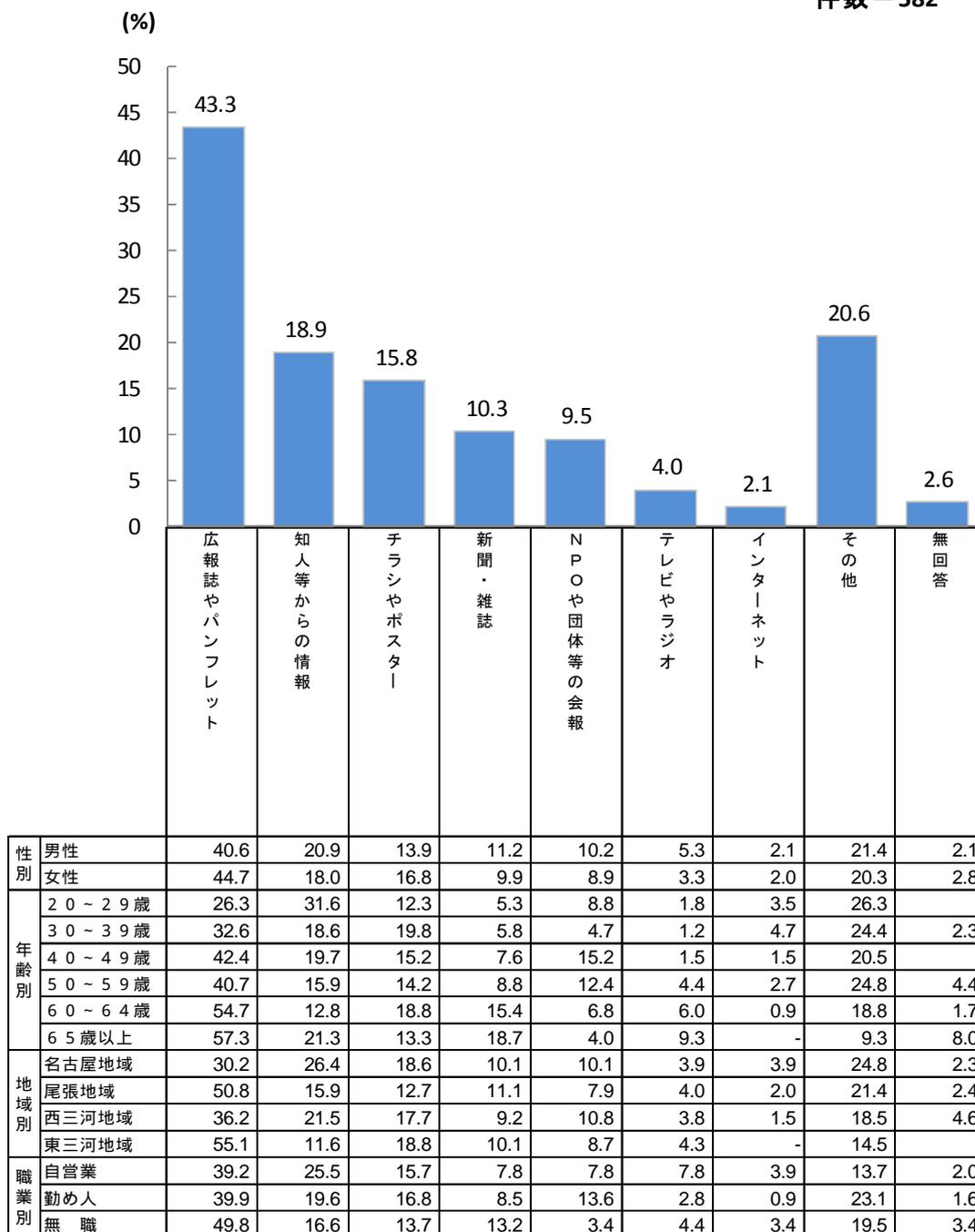
環境学習や環境保全の情報入手先について、「広報誌やパンフレット」と答えた人の割合が43.3%で最も高く、次いで「知人等からの情報」(18.9%)、「チラシやポスター」(15.8%)の順になっている。

「その他」(20.6%)(120件)については、記述回答があった103件のうち、「町内会や子ども会といった地元からの回覧板等による情報」が78件、「学校からの情報」が17件で、大半を占めている。

環境学習や環境保全活動の情報入手先（性別、年齢別、地域別、職業別）

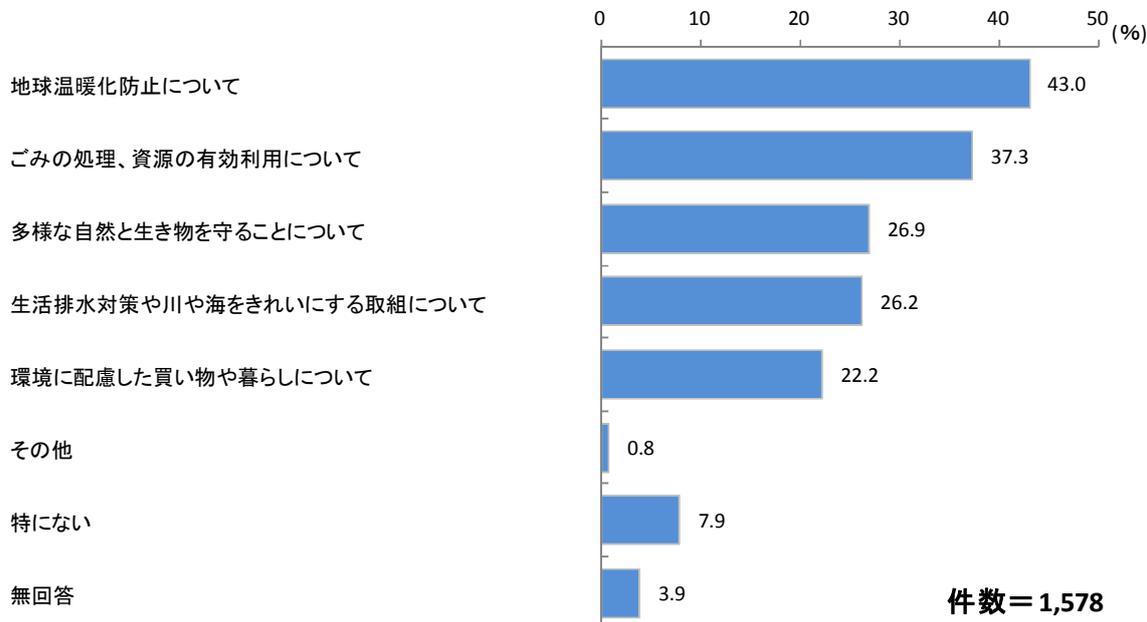
- ◇ 性別で見ると、「広報誌やパンフレット」と答えた人の割合は、男性（40.6%）より女性（44.7%）で4.1ポイント高くなっている。
- ◇ 年齢別で見ると、「広報誌やパンフレット」と答えた人の割合は、65歳以上（57.3%）で高く、20代（26.3%）で低くなっている。なお、20代で「知人等からの情報」（31.6%）と答えた人の割合が最も高くなっている。
- ◇ 地域別で見ると、「広報誌やパンフレット」と答えた人の割合は、東三河地域（55.1%）で高く、名古屋地域（30.2%）で低くなっている。
- ◇ 職業別で見ると、「広報誌やパンフレット」と答えた人の割合は、無職（49.8%）で高く、自営業（39.2%）と勤め人（39.9%）で低くなっている。

件数=582



(4) 学んでみたい環境問題の分野
「地球温暖化防止について」が43.0%

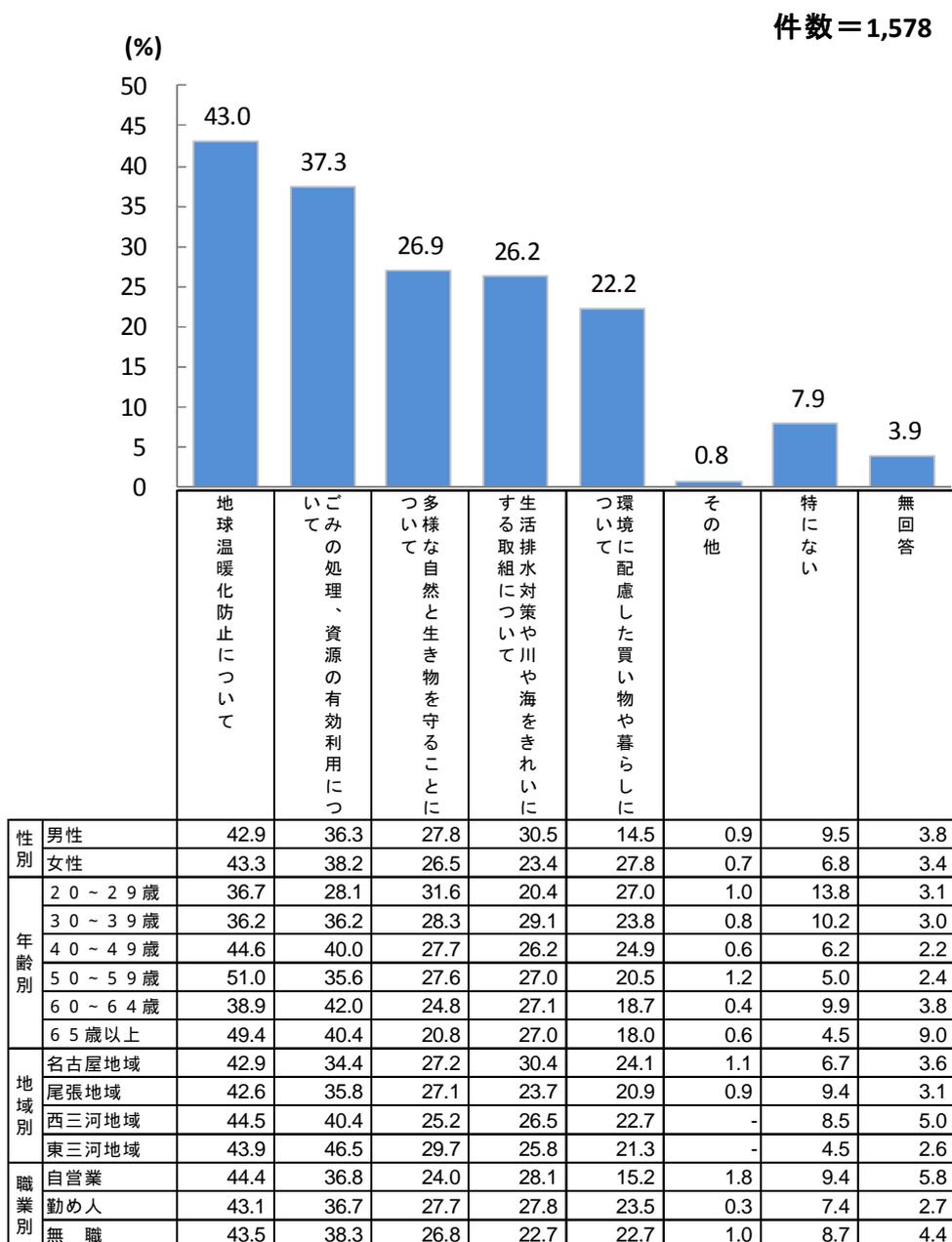
問32 愛知県では、「ストップ温暖化教室」や「自然観察会」など様々な環境学習を実施しています。あなたは、環境問題においてどのような分野に関心がありますか。今後学んでみたいと思う分野を選んでください。(は2つまで)



学んでみたい環境問題の分野について、「地球温暖化防止について」と答えた人の割合が43.0%で最も高く、次いで「ごみの処理、資源の有効利用について」(37.3%)、「多様な自然と生き物を守ることにについて」(26.9%)、「生活排水対策や川や海をきれいにする取組について」(26.2%)の順になっている。

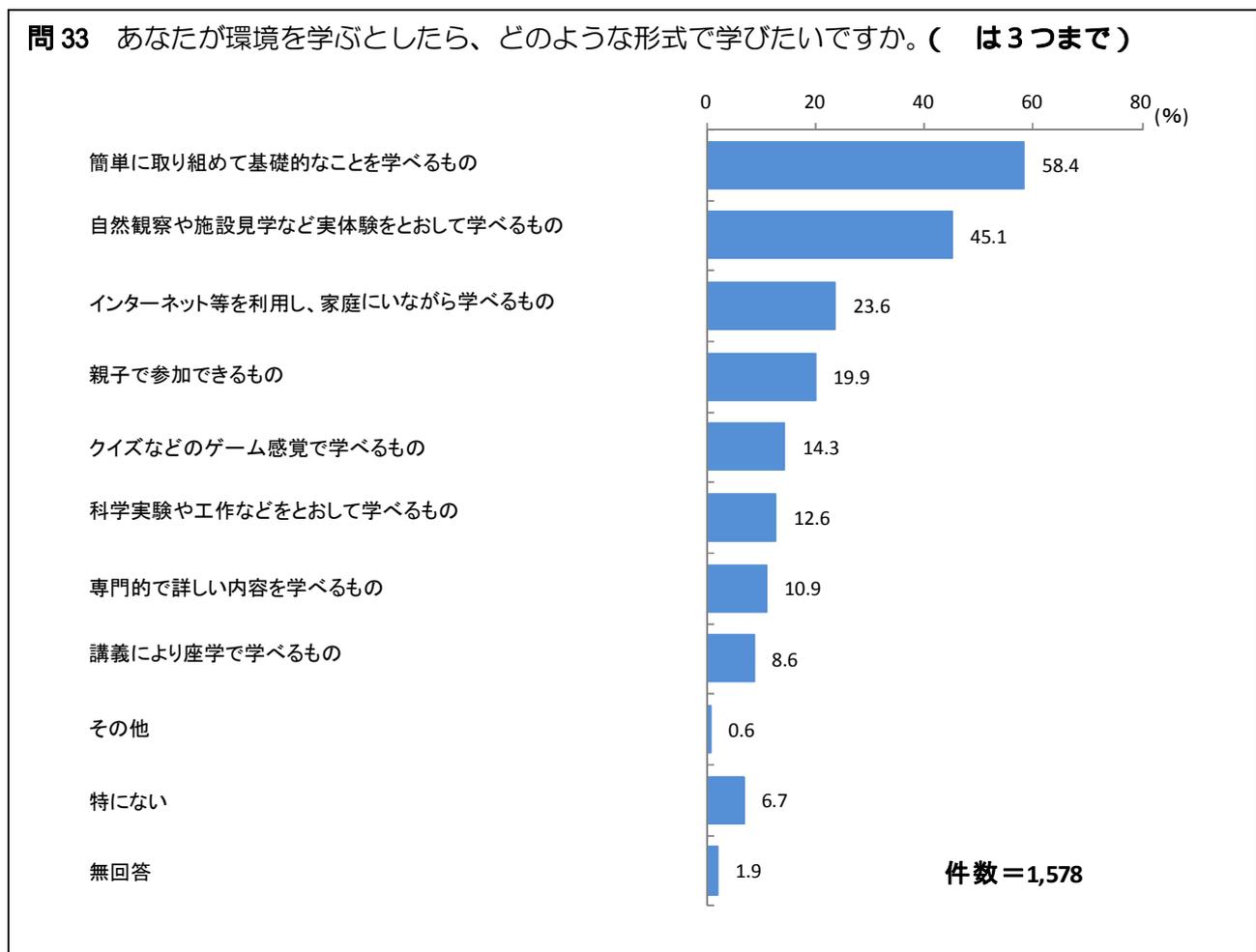
学んでみたい環境問題の分野（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◇ 性別で見ると、「環境に配慮した買い物や暮らしについて」と答えた人の割合は、男性（14.5%）より女性（27.8%）で13.3ポイント高くなっている。
- ◇ 年齢別で見ると、「地球温暖化防止について」と答えた人の割合は、50代（51.0%）で高く、30代（36.2%）で低くなっている。
- ◇ 地域別で見ると、「ごみの処理、資源の有効利用について」と答えた人の割合は、東三河地域（46.5%）で高く、名古屋地域（34.4%）と尾張地域（35.8%）で低くなっている。また、名古屋地域・尾張地域・西三河地域では「地球温暖化防止について」と答えた人の割合が最も高く、東三河地域では「ごみの処理、資源の有効利用について」（46.5%）と答えた人の割合が最も高くなっている。
- ◇ 職業別で見ると、「生活排水対策や川や海をきれいにする取組について」と答えた人の割合は、自営業（28.1%）で高く、無職（22.7%）で低くなっている。また、「環境に配慮した買い物や暮らしについて」と答えた人の割合は、勤め人（23.5%）で高く、自営業（15.2%）で低くなっている。



(5) 環境を学ぶ際に希望する学習形式

「簡単に取り組めて基礎的なことを学べるもの」が58.4%

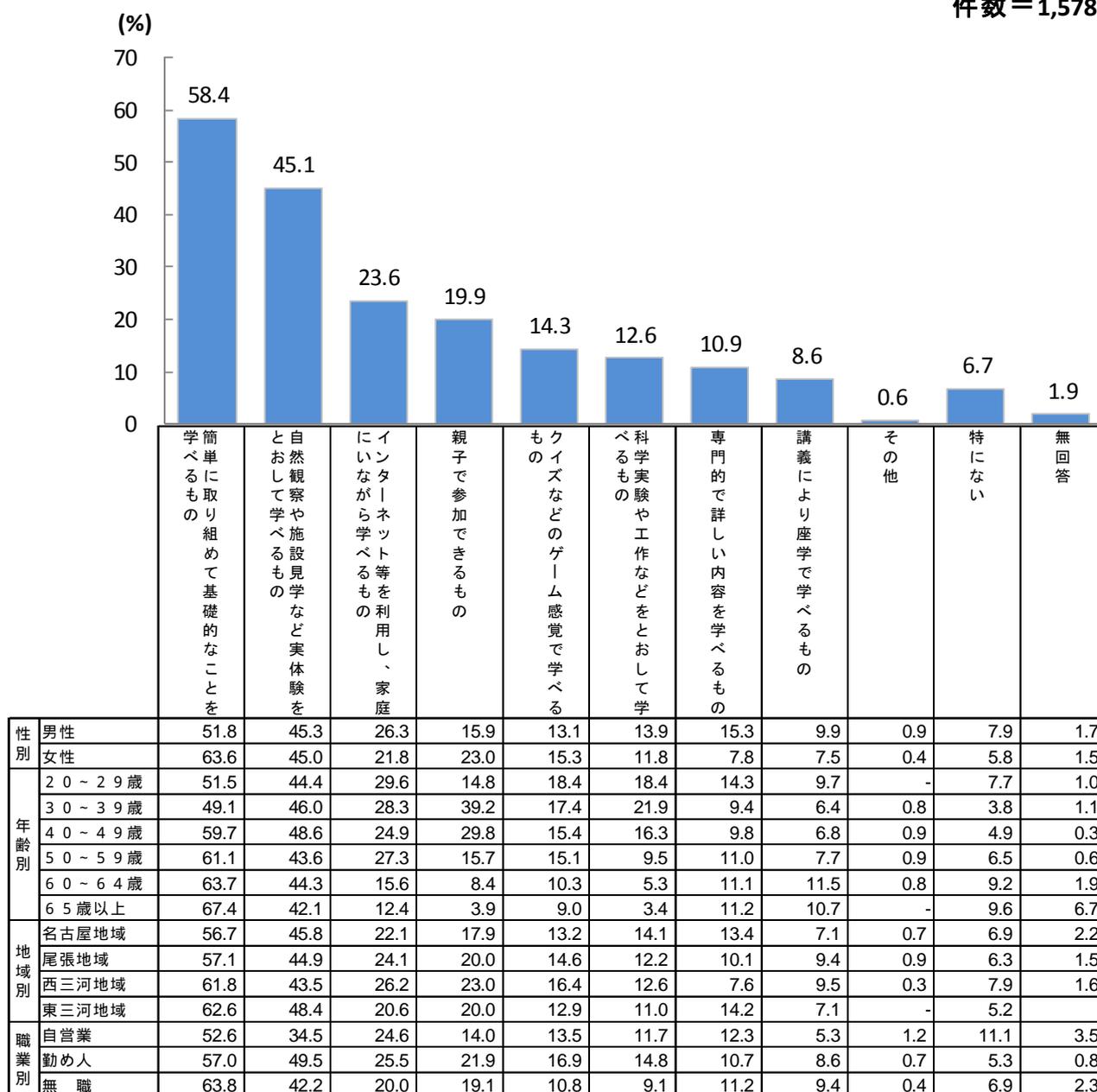


環境を学ぶ際に希望する学習形式について、「簡単に取り組めて基礎的なことを学べるもの」と答えた人の割合が58.4%で最も高く、次いで「自然観察や施設見学など実体験をとおして学べるもの」(45.1%)、「インターネット等を利用し、家庭にいながら学べるもの」(23.6%)の順になっている。

環境を学ぶ際に希望する学習形式（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◇ 性別で見ると、「簡単に組み合わせて基礎的なことを学べるもの」と答えた人の割合は、男性(51.8%)より女性(63.6%)で11.8ポイント高くなっている。
- ◇ 年齢別で見ると、「簡単に組み合わせて基礎的なことを学べるもの」と答えた人の割合は、65歳以上(67.4%)で高く、30代(49.1%)で低くなっている。また、「インターネット等を利用し、家庭にいながら学べるもの」と答えた人の割合は、60～64歳(15.6%)、65歳以上(12.4%)で低くなっている。
- ◇ 地域別で見ると、「簡単に組み合わせて基礎的なことを学べるもの」と答えた人の割合は、東三河地域(62.6%)で高く、名古屋地域(56.7%)で低くなっている。
- ◇ 職業別で見ると、「自然観察や施設見学など実体験をとおして学べるもの」と答えた人の割合は、勤め人(49.5%)で高く、自営業(34.5%)で低くなっている。

件数=1,578



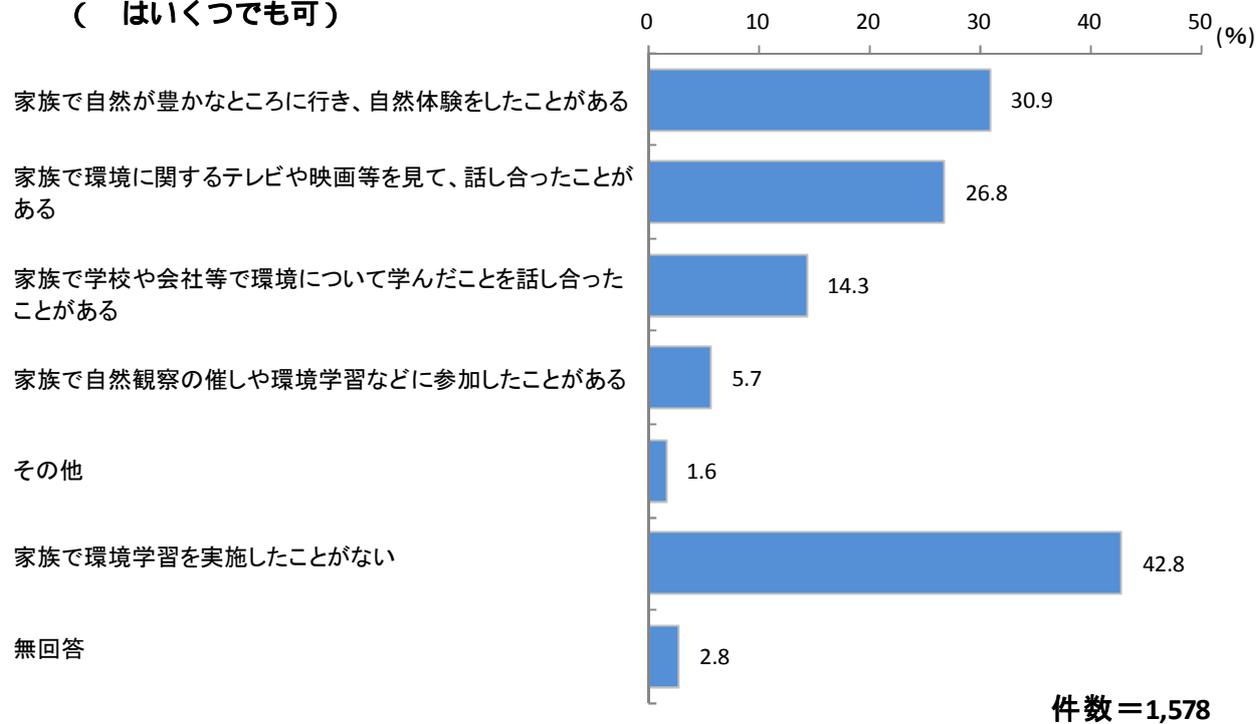
(6) 家族で実施したことがある環境学習

「家族で自然が豊かなところに行き、自然体験をしたことがある」が30.9%

問 34 一人ひとりが環境問題に関心を持ち、日常生活において環境に配慮した取組を行うためには家庭の役割が大変重要です。

あなたは、家庭においてどのような環境学習を実施したことがありますか。

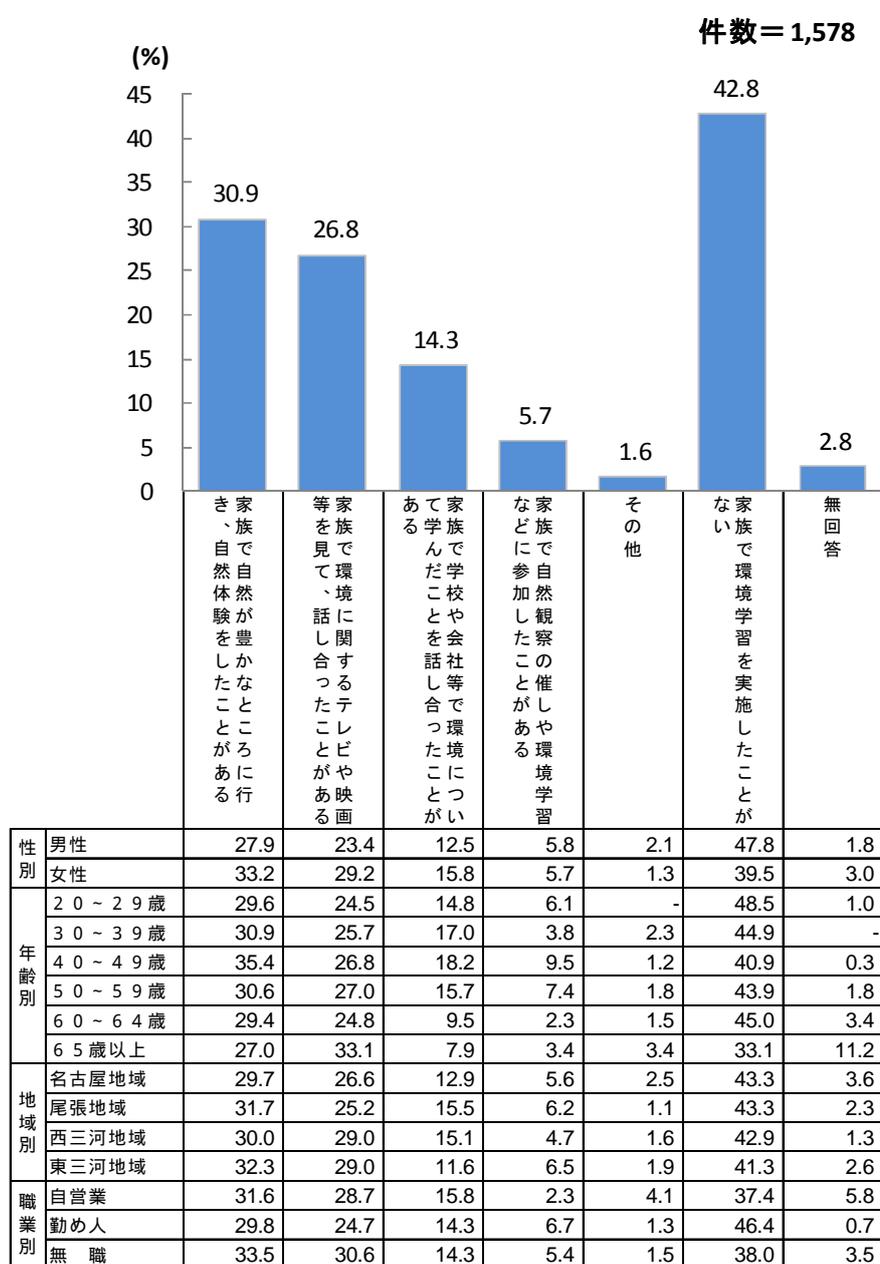
(はいくつでも可)



家族で実施したことがある環境学習について、「家族で自然が豊かなところに行き、自然体験をしたことがある」(30.9%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「家族で環境に関するテレビや映画等を見て、話し合ったことがある」(26.8%)、「家族で学校や会社等で環境について学んだことを話し合ったことがある」(14.3%)の順となっている。一方で、「家族で環境学習を実施したことがない」と答えた人の割合は42.8%となっている。

家族で実施したことがある環境学習（性別、年齢別、地域別、職業別）

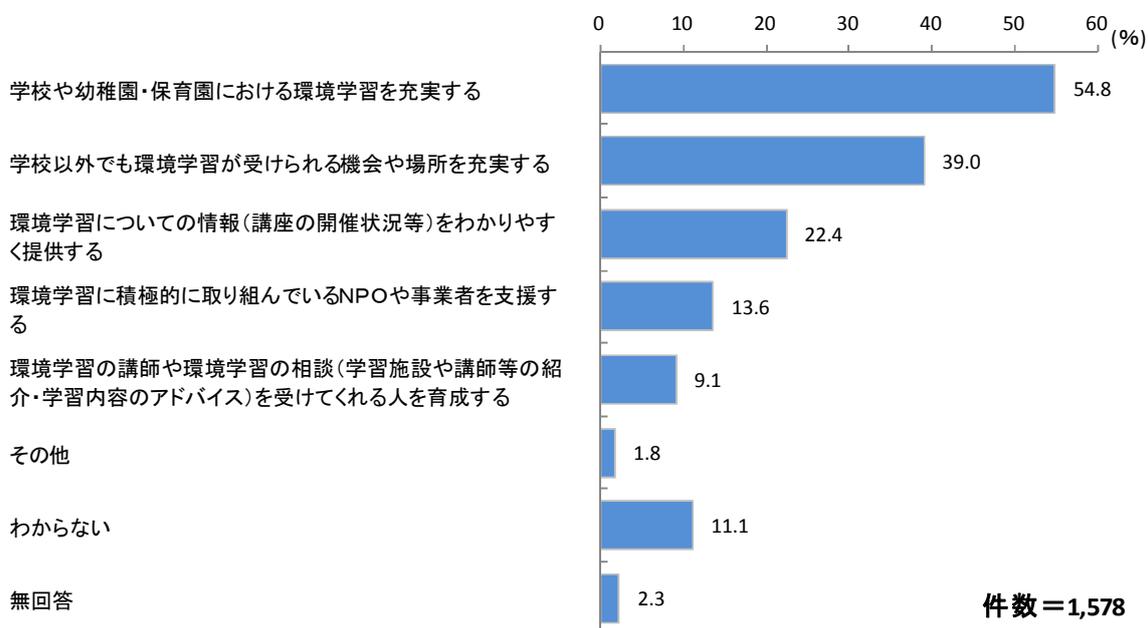
- ◇ 性別で見ると、「家族で自然が豊かなところに行き、自然体験をしたことがある」と答えた人の割合は、男性（27.9%）より女性（33.2%）で5.3ポイント高くなっている。
- ◇ 年齢別で見ると、「家族で自然が豊かなところに行き、自然体験をしたことがある」と答えた人の割合は、40代（35.4%）で高く、65歳以上（27.0%）で低くなっている。また、「家族で環境学習を実施したことがない」と答えた人の割合は20代（48.5%）で高く、65歳以上（33.1%）で低くなっている。
- ◇ 地域別で見ると、大きな差異はみられない。
- ◇ 職業別で見ると、「家族で環境学習を実施したことがない」と答えた人の割合は、勤め人（46.4%）で高くなっている。



(7) 愛知県が取り組むべき環境学習

「学校や幼稚園・保育園における環境学習を充実する」が54.8%

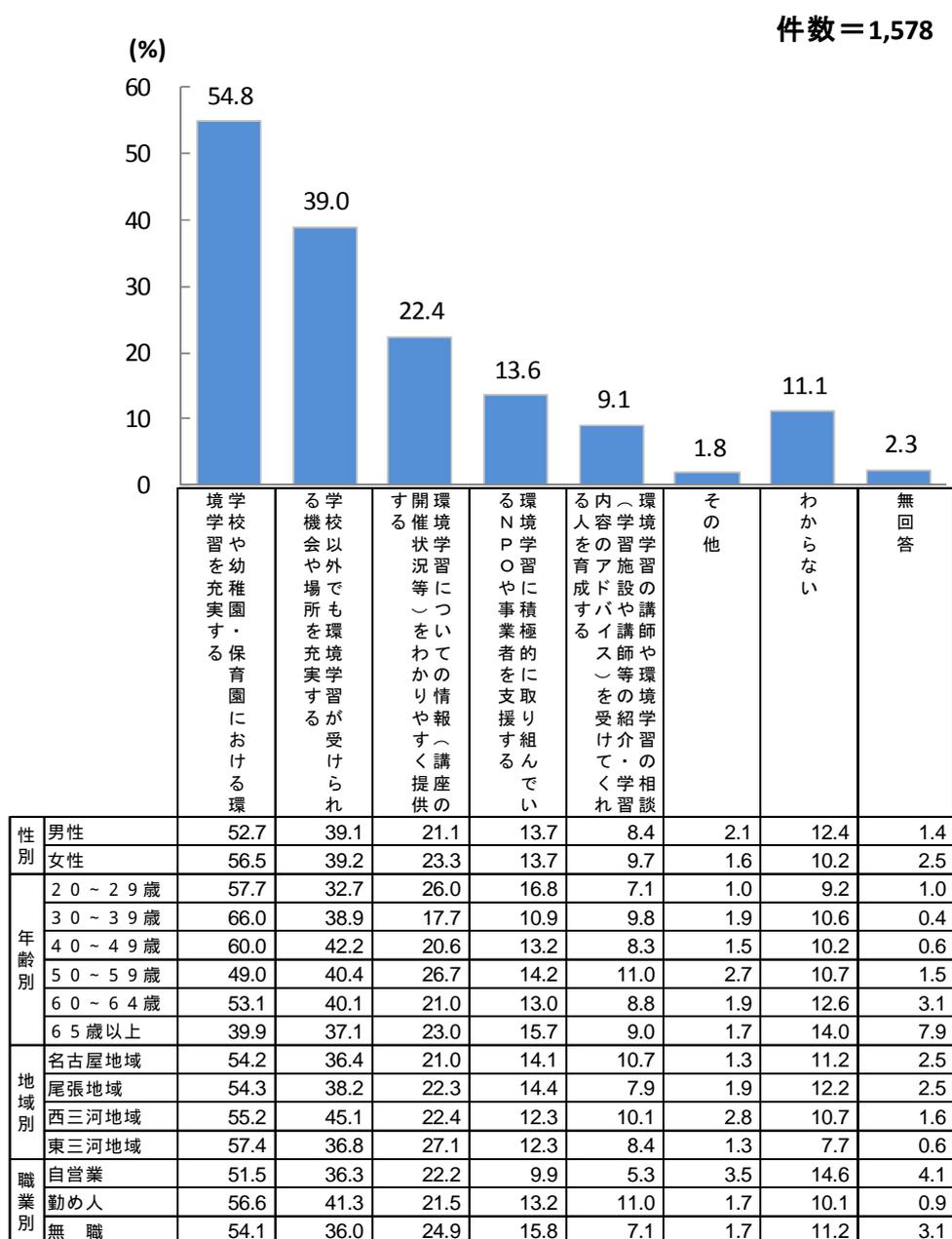
問 35 あなたは、環境学習を進めていく上で、愛知県が重点的に取り組むべきことは何だと考えますか。(は2つまで)



愛知県が取り組むべき環境学習について、「学校や幼稚園・保育園における環境学習を充実する」と答えた人の割合が54.8%で最も高く、次いで「学校以外でも環境学習が受けられる機会や場所を充実する」(39.0%)、「環境学習についての情報(講座の開催状況等)をわかりやすく提供する」(22.4%)の順になっている。

愛知県が取り組むべき環境学習（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◇ 性別で見ると、「学校や幼稚園・保育園における環境学習を充実する」と答えた人の割合は、男性（52.7%）より女性（56.5%）で3.8ポイント高くなっている。
- ◇ 年齢別で見ると、「学校や幼稚園・保育園における環境学習を充実する」と答えた人の割合は、30代（66.0%）で高く、65歳以上（39.9%）で低くなっている。
- ◇ 地域別で見ると、「学校以外でも環境学習が受けられる機会や場所を充実する」と答えた人の割合は、西三河地域（45.1%）で高くなっている。
- ◇ 職業別で見ると、「学校や幼稚園・保育園における環境学習を充実する」と答えた人の割合は、勤め人（56.6%）で高く、自営業（51.5%）で低くなっている。



愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果

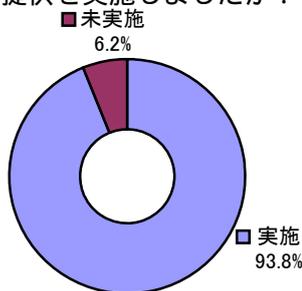
事業者

対象件数	回答件数	回答率
386	64	16.6%

質問1 サービスや情報の提供などにおいて環境負荷の低減の取組を実施しましたか？
または、ライフサイクルの視点で環境に配慮した製品の提供を実施しましたか？

実施	60
未実施	4
合計	64

- <実施しなかった理由>
- ・実施の機会がなかった為
 - ・事業柄扱っていない

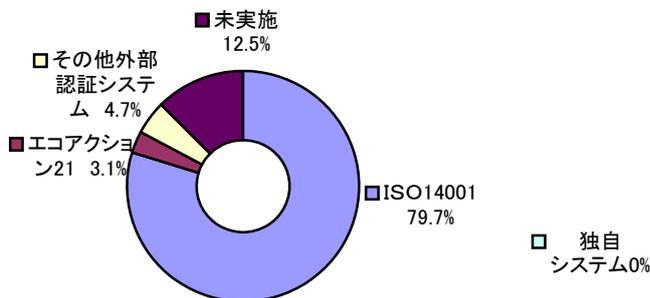


質問2 どのような環境マネジメントシステムを実施していましたか？

ISO14001	51
エコアクション21	2
その他外部認証システム	3
独自システム	0
未実施	8
合計	64

(実施した 56者 (87.5%))

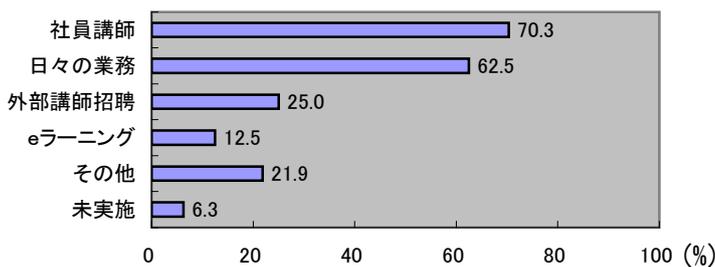
- <実施しなかった理由>
- ・H24年4月に会社設立したため。
 - ・業務、サービス提供として環境負荷低減を行っておりマネジメントシステムとして確立していない。
 - ・環境監理者が不在。全社展開が難しい。LED等省エネ商品の販売促進はしているが、推奨のみ。
 - ・H26年度にエコアクション21を取得予定
 - ・導入・維持のコストが高い
 - ・製品の環境対応「エコマーク」「カーボンフットプリント」「カーボンオフセット」等を優先している



質問3 社員教育の中でどのような環境教育・環境学習を実施しましたか？（複数回答可）

社員が講師となって実施した	45
日々の業務を通じて実施した	40
外部講師を招聘して実施した	16
eラーニングを実施した	8
その他	14
未実施	4
合計	127

(実施した 60者 (93.4%))



- <その他の内容>
- 【セミナー等への参加】
 - ・外部団体が主催する、セミナー、講演会・見学会への参加 (5)
 - 【研修・検定】
 - ・エコ検定の受験推進
 - ・ISO14001の内部監査員研修、各種資格試験受験
 - 【情報発信】
 - ・社内パネル展示会、環境関連情報の各種発信など
 - ・社内報

- 【会社独自】
- ・省エネ委員会のもとにエネルギー管理委員会を作り、毎月の各現場ごとのエネルギー原単位を把握した。
 - ・当社社有林での社員向け森林環境プログラムの実施
 - ・業務として環境教育訓練実施、環境クイズ実施
 - ・社会環境報告書の一人1冊の配布と理解度テストの実施

- <実施しなかった理由>
- ・安全、品質教育に重きを置き、環境面の教育に注力できなかった。
 - ・企画管理部から情報発信しているため

<外部講師内訳> n=16

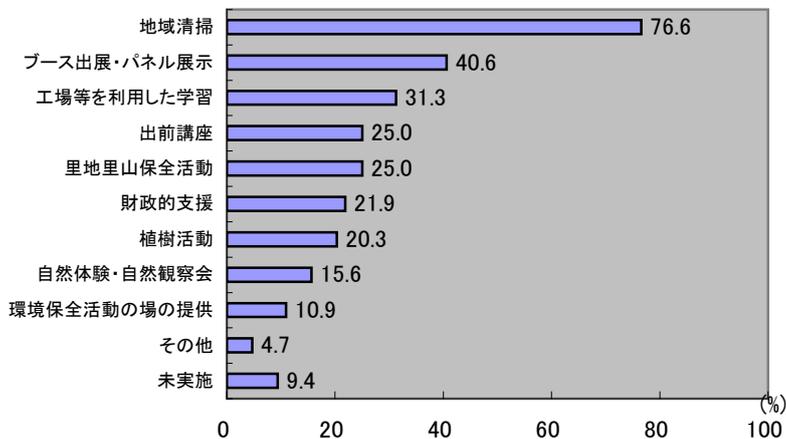
コンサルを含む事業者	10
行政	4
NPO	1
その他	4
合計	19

同業者、親会社、企業、大学

質問4 地域への貢献として、どのような環境教育・環境学習や環境保全活動を実施しましたか？（複数回答可）

地域の清掃活動	49
ブース出展・パネル展示	26
工場等を利用した学習	20
出前講座などの座学	16
里地里山保全活動	16
NPOや地域住民への財政的支援	14
植樹活動	13
自然体験・自然観察会	10
環境保全活動の場の提供	7
その他	3
未実施	6
合計	180

（実施した 58者（90.6%））



<その他の内容>

- ・地域で組織する環境研究会に企業として参加した
- ・近隣小中学校生の見学や実習（リサイクル）受入れ
- ・取引先様のこども環境学習の企画運営をした

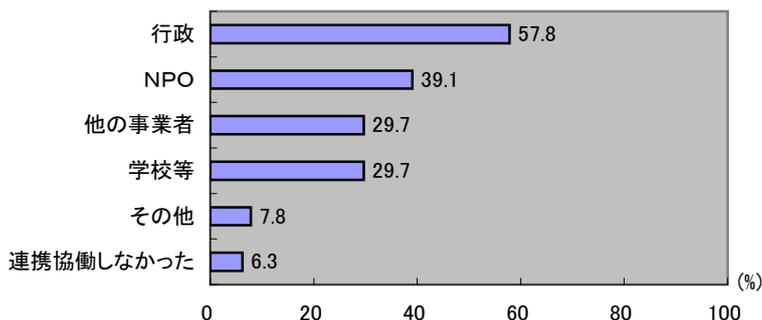
<実施しなかった理由>

- ・社内に地域貢献に相当する活動計画及び体制ができていない。
- ・会社事業として既に社会へ貢献しているため（地球温暖化防止）
- ・時間的余裕がない
- ・弊社の活動基準が環境活動に値し、クライアント先に貢献していると自負している。

質問5 環境教育・環境学習や環境保全活動を実施する際、どのような主体と連携・協働して実施しましたか？（複数回答可、問4で実施すると回答したところのみ n=58）

行政	37
NPO（地域の専門家を含む）	25
他の事業者	19
学校等	19
その他	5
連携協働しなかった	4
合計	109

（連携協働した 54者（93.1%））



<その他の内容>

- ・産官共同の環境推進組織
- ・自治区
- ・業界団体
- ・愛知県建設業協会
- ・名商ecoクラブ

<実施しなかった理由>

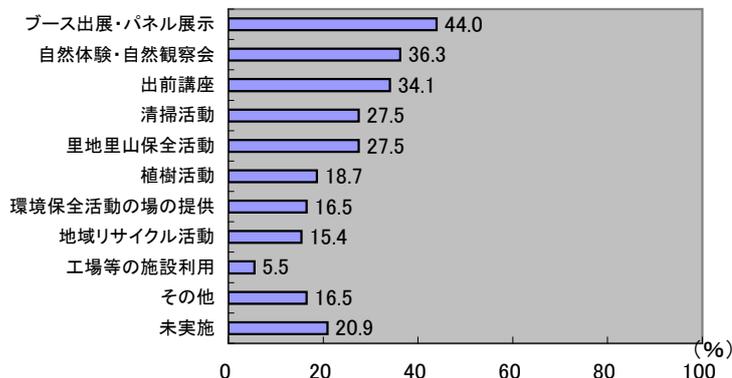
- ・昼休みを利用した工場周辺の清掃活動を実施しているが、連携の考えがあまり無かった。
- ・社員業務およびコスト負担増となるため。
- ・現段階の活動範囲では、自社の対応で十分であるため

対象件数	回答件数	回答率
427	91	21.3%

質問 1 どのような環境保全活動や環境学習を実施しましたか？（複数回答可）

ブース出展・パネル展示	40
自然体験・自然観察会	33
出前講座などの座学	31
地域の清掃活動	25
里地里山保全活動	25
植樹活動	17
環境保全活動の場の提供	15
地域のリサイクル活動	14
工場等の施設を利用	5
その他	15
未実施	19
合計	239

（実施したNPO数 72者（79.1%））



< その他の内容 >

【環境美化】

- ・海岸清掃
- ・新川河岸の清掃、ゴミ回収活動
- ・街道沿いの除草活動、植花活動

【農林業】

- ・耕作放棄地を活用した共同農園、農作業体験実習（中学生他）
- ・小学生の農業体験学習
- ・間伐した竹を屋上断熱材として利用、それを通して竹林の環境学習
- ・山と森林を結び直す支援活動（境界測定と森づくり相談、放置間伐材を活用したまちづくり活動等）

【生物】

- ・希少種保護増殖活動、特定外来種駆除活動（2）

【セミナー、フォーラム】

- ・展覧会、セミナー（2）
- ・フォーラム開催

【その他】

- ・自然の山野を使った協議オリエンテーリングの大会を実施
- ・中部大学との国連ESDにおける産学協同としての「環境経営ゲーム」の普及
- ・持ち運びソーラーパネル、コンポストトイレのワークショップ
- ・古民家再生のための調査・提案
- ・EM活性液の河川放流等
- ・参加体験型（ワークショップ）による環境学習（座学ではない）
- ・幼児を対象とした環境教育の学習

< 実施しなかった理由 >

【他の事業が中心】

- ・他の事業に力を置いていた、労力不足（5）

【活動の停滞】

- ・活動が低調だった（3）

【依頼がなかった、日程が合わなかった】

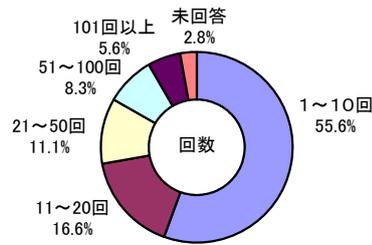
- ・専門家育成の講座は開催したが、学校や一般向けについては、依頼がなかった。
- ・活動する機会がなかった。日程等が合わなかった。
- ・依頼がなかったことや環境保全の行事を企画しなかった
- ・特に検討していなかったため

【その他】

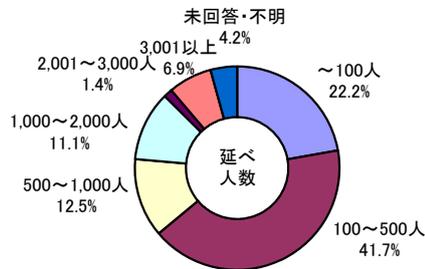
- ・実体験を伝える「おもしろ体験子屋」として、毎年50を超える講座をしていますが、環境学習を目的として行った講座はないため。
- ・田原市教育委員会と森林教室開催の話を進め、平成25年6月に設楽町で実施する計画を持ち今年6月に実施した。
- ・環境保全に関わる研究開発の推進、支援をしているが、環境学習には取り組んでいない。

質問2 環境保全活動や環境学習を合計何回実施しましたか？(n=72)

<回数>		(未回答有)
1～10回	40	
11～20回	12	
21～50回	8	
51～100回	6	
101回以上	4	
未回答	2	
合計	72	

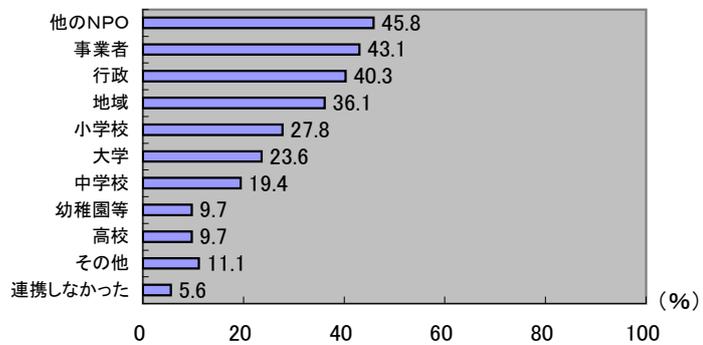


<延べ人数>	
～100人	16
100～500人	30
500～1,000人	9
1,000～2,000人	8
2,001～3,000人	1
3,001以上	5
未回答・不明	3
合計	72



質問3 環境学習をどのような主体と連携して実施しましたか？(複数回答可、問1で実施したと回答した所のみ n=72)

他のNPO(国際NPO・NGOを含む)	33
事業者	31
行政	29
地域(子供会、町内会等)	26
小学校	20
大学	17
中学校	14
幼稚園・保育園・認定こども園	7
高校	7
その他	8
連携しなかった	4
合計	196



<その他の内容>

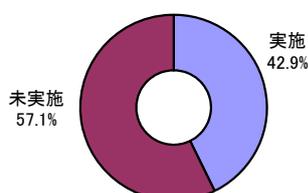
- ・インターネットで集まった若者が、宿泊して共に活動
- ・あいち自然ネット
- ・観光協会、組合
- ・研究所、林業研究グループ、商工会
- ・カナダ会、中国領事館、etc
- ・デザイナー(間伐材活用の立場なので商品作りのアイデアの提供を受けている)
- ・ボランティア団体
- ・観光協会、各種組合

<連携しなかった理由>

- ・連携先の情報がなかった。
- ・調査のための人手は欲しかったが、外部参加者を募る方法や余裕は無かった。
- ・学校関係や行政などは、こちらから声をかけるのが遅く実現できませんでした。
- ・昨年度設立したばかりで連携先の情報がなかった。

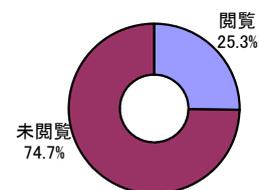
質問4 コーディネーターの役割(講師の派遣だけでなく、活動・学習内容の調整を含む)を実施しましたか？

実施	39
未実施	52
合計	91



質問5 環境学習ライブラリーは閲覧しましたか？

閲覧	23
未閲覧	68
合計	91

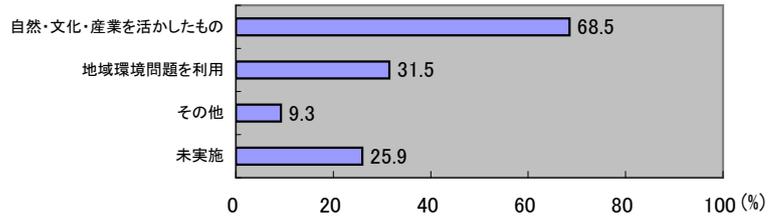


対象件数	回答件数	回答率
54	54	100.0%

質問1 地域の特性を活かした環境学習として、どのようなことを実施しましたか？（複数回答可）

自然・文化・産業を活かしたもの	37
地域の環境問題を利用	17
その他	5
未実施	14
合計	73

（実施した 40者（74.1%））



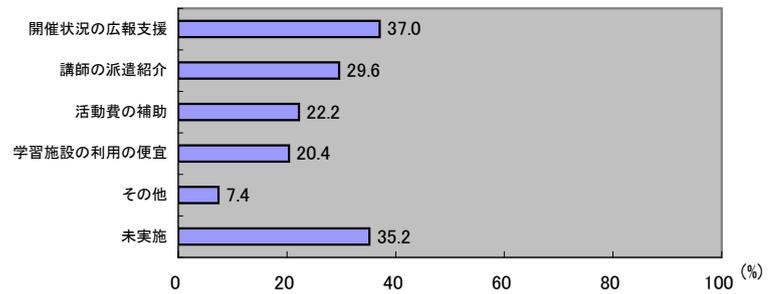
<その他の内容>

- ・企業の協賛によるもの
- ・地球温暖化防止をテーマにした緑のカーテン講座
- ・ごみ集積所にてゴミ収集見学、緑のカーテン事業
- ・施設見学等を通して自然環境や分別への意識向上を図るもの

質問2 環境学習を行う各主体へどのような支援をしましたか？（複数回答可）

イベント等の開催状況の広報支援	20
市町村職員の派遣や専門家の紹介	16
活動費の一部を補助	12
公共の学習施設の利用の便宜を図る	11
その他	4
未実施	19
合計	82

（実施した 35者（64.8%））



<その他の内容>

【資料の提供】

- ・活動に必要な資料の一部を補助する
- ・緑のカーテン資料配布

【活躍の場の提供】

- ・環境ボランティア団体に市が実施する講座の講師を依頼（活躍の場の提供、講師料の支払い）
- ・市主催の講座で講師として活動してもらい、講座企画に関わってもらう
- ・市環境アドバイザーに講座を実施し、講師として学校等に派遣及び謝礼支払い。

【運営委託】

- ・共同イベント「環境デーなごや」の開催、「なごや環境大学」事務局の運営
- ・環境学習事業の一部をNPOに委託。

【その他】

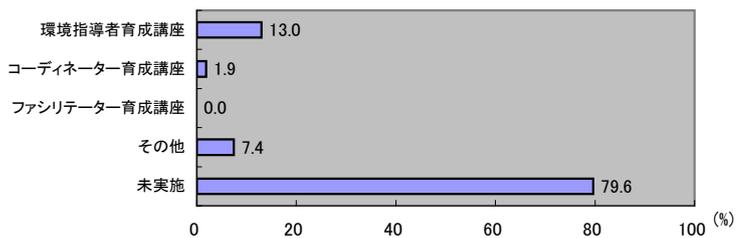
- ・事業の人的支援

質問3 環境学習指導者の人材育成についてどのような事業を実施しましたか？（複数回答可）

環境指導者育成講座	7
コーディネーター育成講座	1
ファシリテーター育成講座	0
その他	4
未実施	43
合計	55

（実施した 11者（20.4%））

1
2



<その他の内容>

- ・ボランティアガイド養成講座（犬山市）
- ・市主催の講座に運営委員として市民が参画する（瀬戸市）
- ・市主催の講座に市と市民のパートナーシップ型組織の活動による人材育成（瀬戸市）
- ・市主催の講座にパートナーシップ型組織への自然ガイドボランティア育成委託（瀬戸市）
- ・市が育成講座により育成した環境ボランティア団体の活動支援をおこなった（刈谷市）
- ・里山保全リーダー養成講座（豊川市）

<実施した市町村>

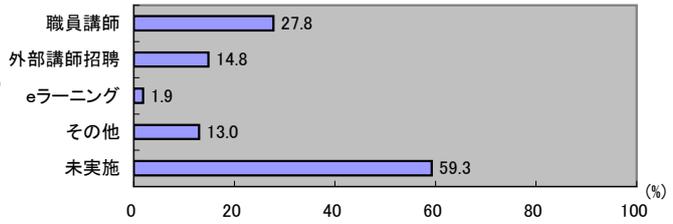
- 1（名古屋市、小牧市、碧南市、安城市、知多市、豊田市、日進市、弥富市）、 2（豊田市）

質問4 職員に対してどのように環境学習を実施しましたか？（複数回答可）

職員が講師となった	15
外部講師を招聘した	8
eラーニング	1
その他	7
未実施	32
合計	63

（実施した 23者（42.6%））

（名古屋市）



<その他の内容>

- ・事業運営ボランティアに対しての研修の実施
- ・セミナーや講演参加
- ・県が実施する研修等への参加
- ・市主催講座への参加呼びかけ

<外部講師内訳>

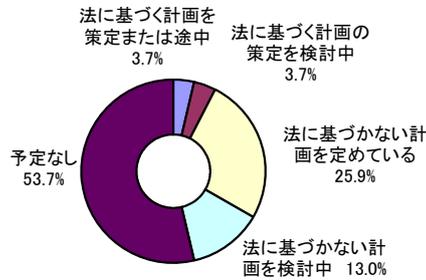
コンサルを含む事業者	7
NPO	1
国や県	1
その他	2
合計	11

タレント、教員OB、環境カウンセラー

質問5 環境学習に関する行動計画を策定していますか？

法に基づく計画を策定または途中	2	※1
法に基づく計画の策定を検討中	2	※2
法に基づかない計画を定めている	14	
法に基づかない計画の策定を検討中	7	
予定なし	29	
合計	54	

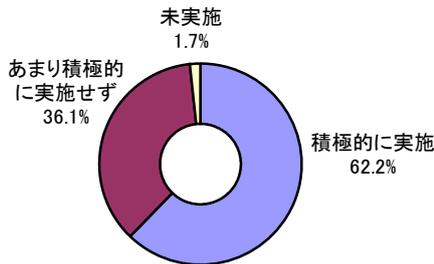
- 1 岡崎市、豊田市
- 2 名古屋市、安城市



対象件数	回答件数	回答率
421	119	28.3%

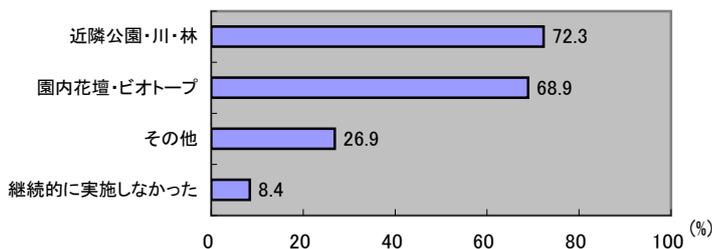
質問1 五感を使うことができる自然体験をどれくらい実施しましたか？

積極的に実施	74
あまり積極的に実施せず	43
未実施	2
合計	119



質問2 自然体験をどのような場所で実施しましたか？
(複数回答可)

近隣公園・川・林など地域の自然	86
園内花壇・ビオトープ	82
その他	32
継続的に実施しなかった	10
合計	210



(実施した 109者 (91.6%))

<その他の内容>

【農作業体験】

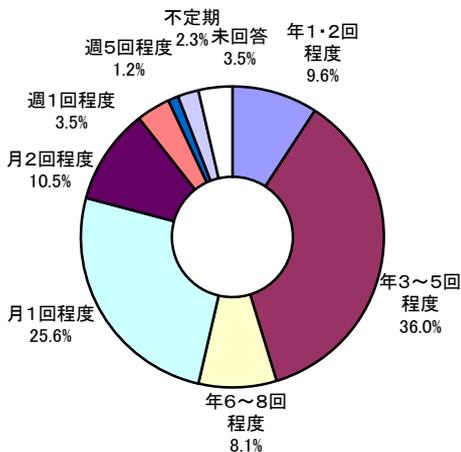
- ・栽培活動 (畑作業)
- ・みかん畑・いも畑
- ・さつまいもの栽培、収穫、小豆の栽培、収穫
- ・園の畑 (トマト、芋、イチゴ)
- ・たけのこ掘り、ザリガニ釣り、芋掘り
- ・近隣の農家
- ・園で借りている畑
- ・野菜などの収穫
- ・農作業体験 (種まき、苗植えつけから世話、収穫、そして食材、教材として生かす)
- ・1年をとおし5種類の野菜の収穫
- ・当園の農園 (畑/果樹園)
- ・幼稚園の畑でいちご狩りと、いも掘り体験
- ・畑で野菜を収穫する。

【自然との触れ合い全般】

- ・どんぐり拾い
- ・岐阜県白川町にある学園の宿泊施設周辺の自然 (年長が1泊2日のキャンプ)
- ・自園が自然環境豊かな場所なので体験が自然にできる
- ・キャンプ
- ・バスを利用して、森の中や川原等を訪れた幼稚園内が全て自然を体験出来る環境である。
- ・二川岩屋緑地へ園バスで出かけた。
- 【その他】
- ・大学・高校
- ・県緑化センター、六所山
- ・地元で生息する生物を飼育し、触れ合う。
- ・園外保育

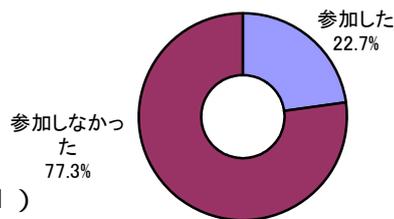
<近隣公園などでの実施頻度> (n=86)

年1・2回程度	8
年3～5回程度	31
年6～8回程度	7
月1回程度	22
月2回程度	9
週1回程度	3
週5回程度	1
不定期	2
未回答	3
合計	86



質問3 教員が環境教育や自然体験に関する研修に参加しましたか？

参加した	27
参加しなかった	92
合計	119



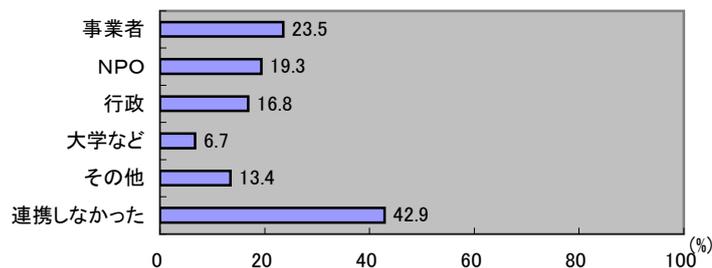
<研修の名称>

- ・愛知県私立幼稚園連盟の活動に参加（11）
- ・新規採用教員研修（2）
- ・ウキウキ！森の発表会 - 自然体験は「環境教育」
- ・幼稚園教育要領グループ研修会
- ・事務職員が環境教育についての研修に出席

質問4 外部講師や外部の体験の場を利用する際、どのような主体と連携しましたか？（複数回答可）

事業者	28
NPO（地域の方も含む）	23
行政	20
大学などの教育機関	8
連携しなかった	51
その他	16
合計	146

（連携した 68者（57.1%））



<その他の内容>

【愛知県私立幼稚園連盟】

- ・愛知県私立幼稚園連盟(5)

【農家等】

- ・園外保育、いも堀り体験、お百姓様
- ・農家（事業者で計上）
- ・いちご栽培農家（事業者で計上）

【その他】

- ・当園職員によるフォレストキンダーガーデンとして月1回20組ほどの親子参加で行う。
- ・小学校一年生との交流として公園で木の実拾いをした。
- ・環境サポーター
- ・保育士
- ・近隣企業内のボランティアグループ・地域の環境を守る会
- ・園内で主任（総括）や運転手など身近な人たちが季節を感じる環境を大切にしています。
- ・科学館、エコパルなごや

愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果

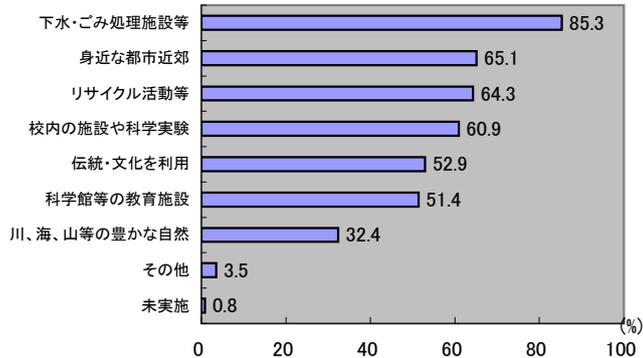
小学校

対象件数	回答件数	回答率
719	599	83.3%

質問1 どのような実体験を取り入れた環境学習を実施しましたか？（複数回答可）

下水・ごみ処理施設等	511
身近な都市近郊の自然	390
リサイクル活動等	385
校内の施設や科学実験	365
地域の農業や伝統・文化	317
科学館等の教育施設	308
川、海、山等の豊かな自然	194
その他	21
未実施	5
合計	2,496

（実施した 594者（99.2%））



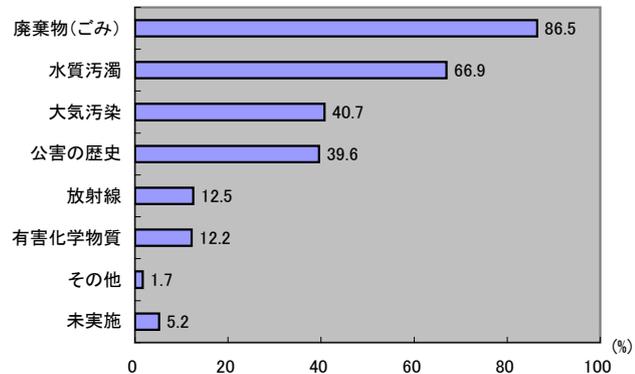
< その他の内容 >

- 【農業体験】米作り体験学習／田んぼの学習／JAによる稲作体験学習
- 【清掃活動】桜並木清掃／川の手入れ活動／校区美化活動
- 【水環境】川の水質／生き物など調査活動
- 【温暖化】地球温暖化防止の授業
- 【3R】地域のリサイクル回収業者／ごみの計量／製紙会社の見学／パッカー車見学
- 【自然体験】自然観察の森／自然体験学習／
- 【野鳥観察】探鳥会（春・夏・秋・冬）／愛鳥活動（巣箱設置、自然愛護の看板立て、給餌活動）
- 【植樹】どんぐりを校庭に植える活動／近隣の植木地での植樹活動／苗木作り／モリコロパークでの植樹活動／岩沼市千年希望の丘植樹へ代表児童参加
- 【エコなものづくり】エコクッキング／草木染め体験／ソーラークッキング／エコキャンドル作り
- 【理科】大学生による訪問科学実験／金環日食／金星の太陽面通過／パンスターズ彗星などの親子宇宙観測会
- 【その他】地域の老人施設との交流

質問2 環境における安全・安心に関することで、どのような授業を実施しましたか？（複数回答可）

廃棄物（ごみ）	518
水質汚濁	401
大気汚染	244
公害の歴史	237
放射線	75
有害化学物質（ダイオキシン類など）	73
その他	10
未実施	31
合計	1,589

（実施した 568者（94.8%））



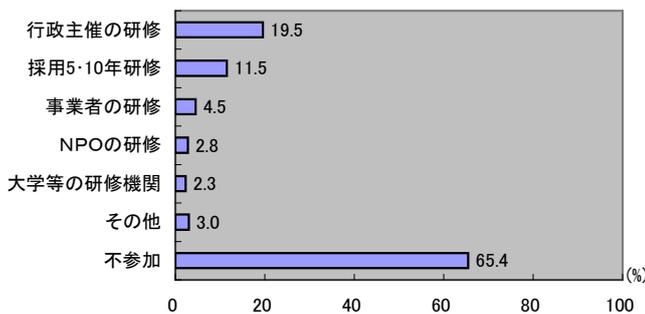
< その他の内容 >

- 地球温暖化／エネルギー／電気に関する学習
- 絶滅危惧種の保護／海亀に関すること
- 不法投棄
- 騒音
- 食物の安全に関すること
- 総合的な学習の時間に5年生が個々の興味に合わせて調べ学習を行った

質問3 環境教育に関わる教員がどのような研修に参加しましたか？

行政主催の研修	117
採用5・10年目研修	69
事業者主催の研修	27
環境NPO主催の研修	17
大学等の研究機関主催の研修	14
その他	18
不参加	392
合計	654

(参加した 207者 (34.6%))



< その他の内容 >

【ESD】

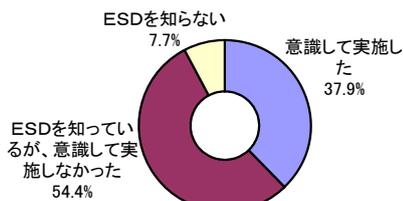
- ・校内研修でESDについて説明した(2)
 - ・ESDに関する研究発表校への参加
 - ・ユネスコ関係の研修会
- 【行政の研修等】
- ・市の総合学習研修会の中での環境学習の研修
 - ・総合学習の教科に関する研修
 - ・地区校務主任研修会
 - ・市の教職員会教科部会の研修における環境教育研修
 - ・市教員研修会理科部研修会(放射線)
 - ・市研究委嘱「環境教育」研究発表会(章南中学校)に学年1名程度参加
 - ・豊田市立土橋小学校研究発表会参加
 - ・初任者研修における環境教育の研修

【その他】

- ・森林組合が市と協賛で開いたもの
- ・水質検査の事前研修
- ・水生生物調査事前研修会
- ・校内の現職研修
- ・教員の自主研修サークル

質問4 環境教育を実施する際、環境教育がESDの一部であることを意識して実施しましたか？

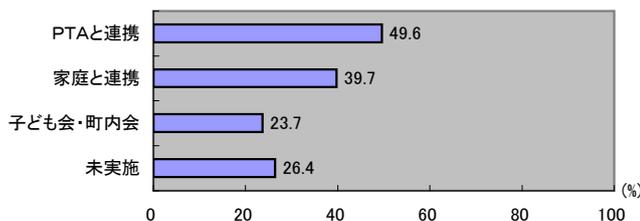
意識して実施した	227
ESDを知っているが、意識して実施しなかった	326
ESDを知らない	46
合計	599



質問5 環境教育を実施する際、PTAや家庭・地域と連携して実施しましたか？(複数回答可)

PTAと連携	297
家庭と連携	238
子ども会・町内会など地域と連携	142
未連携	158
合計	835

(実施した 441者 (73.6%))



< 子ども会・町内会・地域の具体的な連携先 >

【NPO・市民団体】

- ・緑と水を守る会(通称 緑水会)
 - ・ホタル保存会
 - ・町廃油石けん作りボランティアグループ
 - ・「緑水会」という地域の団体
 - ・市場の環境を守る会
 - ・岩倉のごみを考える会
 - ・ロックエンゼルの会(里山保全を中心とした会)
 - ・信楽会(地域のボランティア団体)
 - ・自然保護団体「赤津の自然を育てる会」「瀬戸椿の会」
 - ・おやじの会、NPO法人トンボと水辺環境研究所
 - ・知多市を通して自然観察会の方に講師を依頼
 - ・生き物を守る会、稲作の指導者グループ(田んぼのお師匠さん)
 - ・校内にあるピオトープでホタルの養殖を行った。(学戸ホタルの会)
 - ・篠島まちづくり会や観光協会と協力し、海岸清掃を行い環境問題について考えさせている。
 - ・「里山づくりの会」、地域の方、PTA O Bを中心に、組織された自主的な団体。
 - ・地元の環境保護団体(油ヶ淵の水質浄化やホタルの幼虫の飼育)、県水地盤環境課(油ヶ淵の水質調査)
 - ・東海道花咲かせ隊(下地校区住みよいまちづくり委員会)
 - ・朝倉川水フォーラム主催の朝倉川(地域の川)の清掃活動に参加した
 - ・愛護会(区長さんを中心とした学区の方が参加している組織)
- ・志貴っ子田んぼの会
 - ・里の自然を守る会
 - ・伊賀川を美しくする会、女性の会
 - ・かるがも会、清流会
 - ・菜の花クラブ
 - ・逢妻川散歩みちクラブ
 - ・中野小学校おやじの会
 - ・NPO法人佐奈川の会
 - ・蛭友会

【町内会・自治会・コミュニティ協議会】

- ・コミュニティ協議会(7)、(美化活動など)
- ・自治会(4)
- ・町内会(4)、(美化活動、ゴミ収集)
- ・東境地区 西境地区

【地域の方】

- ・地域ボランティア(5)、(清掃、稲の栽培・収穫)
- ・資源回収を地域と連携して実施(2)
- ・川のある地区の役員・有志のみなさん
- ・地域の方に、神屋地区にある地下堰堤について、建設当時の話を聞く機会を設けた
- ・クリーン大作戦として、通学路の清掃活動を地域の方と一緒にいった。
- ・組織ではなく、地域の人 田植えなど
- ・学区の自治会あるいは自治会長が呼びかけた有志
- ・資源回収やエコキャップ運動を地域や家庭と協力していった。少年センターや中学校と連携し校区内のゴミ拾いを行った。校地の空き地を利用し、地域が中心となって畑作りなどを行った。

【市町村】

- ・市町(4)、(クリーンフェスタ、矢作川をきれいにする行事、蟹江川清掃)
- ・生路コミュニティセンター(公民館)

【老人会】

- ・老人会(4)、(美化活動、ゴミ収集について)

【子ども会】

- ・子ども会(3)、(クリーン作戦、海岸清掃、ホテル観察会)

【学区】

- ・学区の総代会(2)
- ・河和南部学区会 河和南部学区青少年を守る会
- ・学区内区長

【PTA】

- ・PTA(3)、(資源回収、キャンドルナイト、クリーン作戦、川の清掃)

【家庭】

- ・河川美化活動を家庭に呼びかけた
- ・保護者
- ・親子環境緑化活動

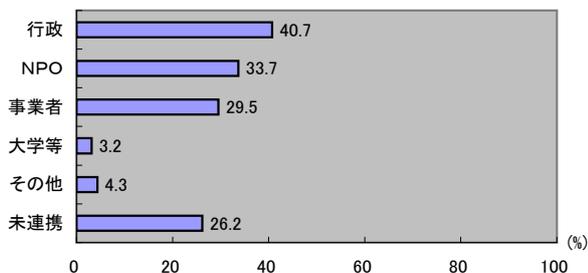
【その他】

- ・高棚環境向上委員会
- ・連区の中学校
- ・富山区家庭教育推進協議会
- ・農業協同組合
- ・漁業協同組合(2)

質問6 外部講師や外部の体験の場を利用する際、どのような主体と連携しましたか？(複数回答可)

行政	244
NPO(地域の方も含む)	202
事業者(企業や農林水産業者)	177
大学等の教育機関	19
その他	26
未連携	158
合計	826

(実施した 441者(68.6%))



<その他の内容>

【地域】

- ・ボランティアパークレンジャー
- ・エコライフクラブ
- ・河和学区河川環境対策委員会
- ・吉浜まちづくり協議会
- ・保護者や地域の方々
- ・地域の塩作りの経験者
- ・学区の農業有識者
- ・校区に住んでいる方を講師に招いた。
- ・樹木医、高校の先生
- ・理科支援担当者の講義
- ・作家 阿部 夏丸
- ・ユネスコスクールに応募している
- ・学区の川と生き物の保護活動をするボランティア団体、稲作の指導者グループ

【行政】

- ・浄水場
- ・豊田市水道局
- ・市役所環境課
- ・豊田市環境学習施設 eco-T(3)
- ・地元のクリーンセンター関係者

【事業者】

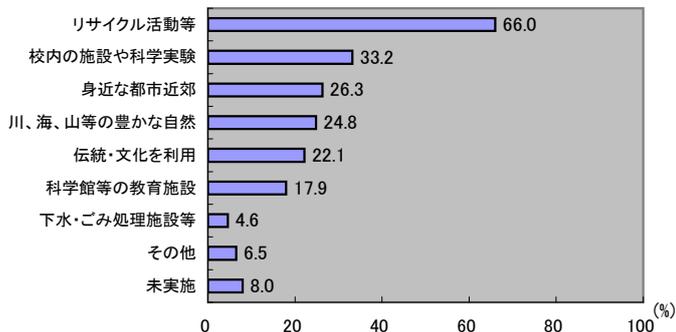
- ・名古屋港水族館職員
- ・生命の海科学館学芸員・インタプリター
- ・地域の天体観測所との連携
- ・公益財団法人日本環境協会
- ・公益財団法人日本野鳥の会

対象件数	回答件数	回答率
349	263	75.4%

質問1 どのような実体験を取り入れた環境学習を実施しましたか？（複数回答可）

リサイクル活動等	173
校内の施設や科学実験	87
身近な都市近郊の自然	69
川、海、山等の豊かな自然	65
地域の農業や伝統・文化	58
科学館等の教育施設	47
下水・ごみ処理施設等	12
その他	17
未実施	21
合計	549

（実施した 242者（92.0%））



<その他の内容>

【清掃活動】

- ・地域の清掃活動
- ・ボランティアでの海岸清掃
- ・ごみひろい

【自然体験】

- ・校外にあるビオトープ内での体験学習
- ・富士山登山、伊豆大島体験
- ・市外 山
- ・自然教室
- ・野外教育活動
- ・林業体験

【3R】

- ・廃油石けんづくり ペットボトル再利用 等

【温暖化】

- ・ゴーヤ栽培
- ・市グリーンカーテン事業に参加

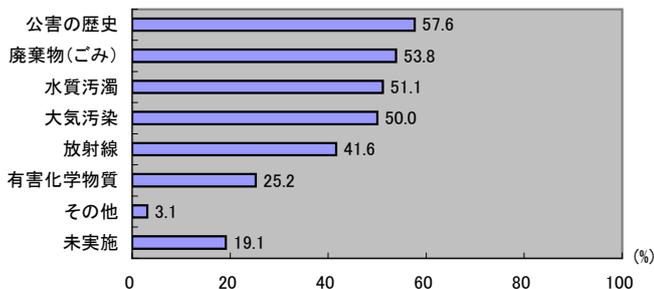
【その他】

- ・理科の授業中に、実際に土の中の生物を調べた。
- ・東北支援ボランティア
- ・修学旅行先での環境に対する調べ学習
- ・EM菌の培養、散布
- ・（株）デンソーによる「環境人材育成プログラム（DYE A）」に参加
- ・身近なものを使った環境実験を通して、理科好きな子どもを増やしたいという市民団体の活動に本校の科学部が参加した。

質問2 環境における安全・安心に関することで、どのような授業を実施しましたか？（複数回答可）

公害の歴史	151
廃棄物（ごみ）	141
水質汚濁	134
大気汚染	131
放射線	109
有害化学物質（ダイオキシン類など）	66
その他	8
未実施	50
合計	790

（実施した 213者（81.0%））



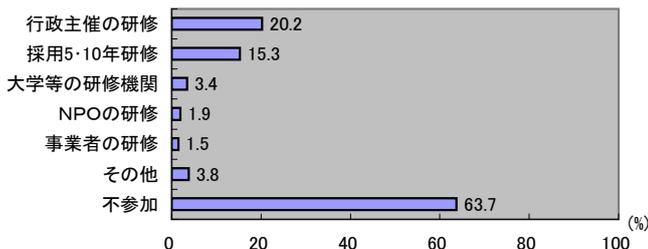
<その他の内容>

- ・新しいエネルギーに関すること
- ・CO2 測定 騒音測定
- ・理科・社会科の単元中で、環境問題全般について
- ・2年家庭科の消費生活の授業で農業による水質汚染や健康被害に触れた
- ・教科の学習のなかでいくつか学んでいると思われる。
- ・獣害
- ・自然災害について
- ・公害問題等包括的に実施した

質問3 環境教育に関わる教員がどのような研修に参加しましたか？

行政主催の研修	53
採用5・10年目研修	40
大学等の研究機関主催の研修	9
環境NPO主催の研修	5
事業者主催の研修	4
その他	10
不参加	167
合計	288

(参加した 96者 (36.6%))



<その他の内容>

【ESD】

- ・ESD教育に関する研修
- ・ESDに関する教務主任の研修会
- ・初任研でESD
- ・主任等研修会でESD教育について先進校の講師を招いて研修会をもった。

【行政の研修等】

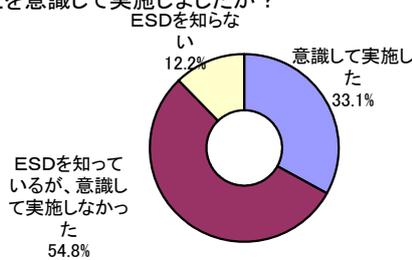
- ・教員免許更新講習会における研修：市主催
- ・豊田市立土橋小学校の環境教育に関する研究発表に参加

【その他】

- ・教科研究会主催による研修
- ・先進校から講師を招き研修を行った。
- ・各自で参加

質問4 環境教育を実施する際、環境教育がESDの一部であることを意識して実施しましたか？

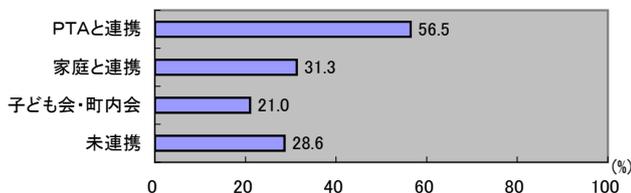
意識して実施した	87
ESDを知っているが、意識して実施しなかった	144
ESDを知らない	32
合計	263



質問5 環境教育を実施する際、PTAや家庭・地域と連携して実施しましたか？(複数回答可)

PTAと連携	148
家庭と連携	82
子ども会・町内会など地域と連携	55
未連携	75
合計	360

(実施した 188者 (71.8%))



<子ども会・町内会・地域の具体的な連携先>

【NPO・市民団体】

- ・ホタルの飼育活動を地域の「里の自然を守る会」
- ・特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム(2)
- ・大山川をきれいにする会 米野さわやか会(環境について考え、小中学生も参加できる地域の会)
- ・みどり川クリーン作戦(MCVネットワーク)、矢作古川クリーン作戦(矢作古川を美しくする会)
- ・水辺クリーンアップ作戦(明るい社会づくり武豊と連携)
- ・大門しめ縄協会
- ・フッチーほたる会

【町内会・自治会・コミュニティ協議会】

- ・町内会(8)、(資源回収、清掃活動)
- ・校区のコミュニティ(2)
- ・家庭教育推進協議会
- ・ごみゼロ運動推進協議会
- ・北里地区健全育成協議会と連携して、クリーン大作戦を実施した。
- ・明るい社会づくり運動知多地区推進協議会阿久比地域
- ・自治会(2)
- ・親父の会
- ・青少年健全育成協議会

【地域の方】

- ・地域の方々が学校を訪問する機会に、花の苗やグリーンカーテン用のゴーヤの苗を配布
- ・資源回収を校区内の区長さんや地域の方とともに実施(2)

【市町村】

- ・刈谷市環境支援グループ、水質検査(学区内の川)月1回
- ・豊田市の美化推進事業の一環で、亀首地区の学校近辺清掃を担当

【学区】

- ・校区内の区長(3)
- ・校区内の行政区ごと

【家庭】

- ・リサイクル活動をすべての家庭に案内文書を配布し協力を呼びかけた。
- ・EM菌の家庭への持ち帰り，散布
- ・保護者が学校を訪問する機会に、花の苗やグリーンカーテン用のゴーヤの苗を配布

【PTA】

- ・西中PTA

【老人会】

- ・老人会（2）（竹とんぼ作り他）

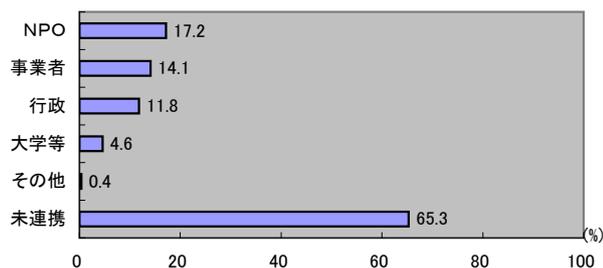
【その他】

- ・近隣の小学校（2）
- ・地域の交流館や消防署の地域花壇づくり
- ・田に植えられたコスモスの種取りを生徒が行った。
- ・水土里ネット
- ・花園商店街
- ・中日青葉学園

質問6 外部講師や外部の体験の場を利用する際、どのような主体と連携しましたか？（複数回答可）

NPO（地域の方も含む）	45
事業者（企業や農林水産業者）	37
行政	31
大学等の教育機関	12
その他	1
未連携	171
合計	297

（実施した 92者（35.0%）



< その他の内容 >

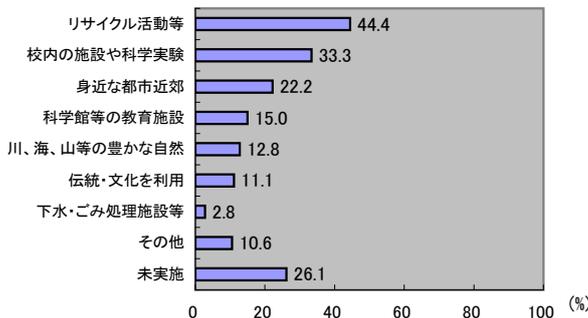
- ・修学旅行で、様々な人たちやバス会社の人たちなどインタビュー
- ・豊橋市自然史博物館学芸員の協力（行政に計上）
- ・森林組合（事業者に計上）

対象件数	回答件数	回答率
205	180	87.8%

質問1 どのような実体験を取り入れた環境学習を実施しましたか？（複数回答可）

リサイクル活動等	80
校内の施設や科学実験	60
身近な都市近郊の自然	40
科学館等の教育施設	27
川、海、山等の豊かな自然	23
地域の農業や伝統・文化	20
下水・ごみ処理施設等	5
その他	19
未実施	47
合計	321

（実施した 133者（73.9%））



<その他の内容>

【3R、清掃活動】

- ・ゴミの分別（2）
- ・ペットボトルキャップ回収（3）
- ・530運動（2）
- ・PTAと連携して制服リサイクルをした
- ・清掃、美化活動
- ・ボランティアで年7回学校周辺道路の清掃活動を実施
- ・除草作業
- ・学校周辺の河川堤防・用水路・緑地等の環境美化

【自然】

- ・アヒル農法による生物多様性の保全活動。
- ・地域の花壇の整備
- ・荒廃竹林の改善に向けて緑竹の繁殖
- ・地域の山でのトレッキングにおける自然保護について学習

【温暖化】

- ・太陽光発電、燃料電池に関するもの
- ・緑のカーテン設置による教室の気温上昇抑制
- ・酸性雨調査、省エネカー・EVカーの製作
- ・セントレア空港でグリーンカーテン

【水環境】

- ・サイエンス・パートナーシップ・プロジェクトにおいて地域の河川の環境調査を実施
- ・干潟の再生（アマモ場造成）

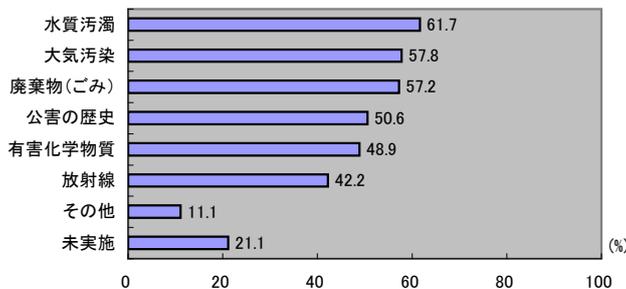
【その他】

- ・外部講師を招いての授業
- ・ミツバチの飼育を通して名古屋都心における環境まちづくりを実践
- ・理化学研究所を社会見学
- ・校舎の立地、神社の分布

質問2 環境における安全・安心に関することで、どのような授業を実施しましたか？（複数回答可）

水質汚濁	111
大気汚染	104
廃棄物（ごみ）	103
公害の歴史	91
有害化学物質（ダイオキシン類など）	88
放射線	76
その他	20
未実施	38
合計	631

（実施した 142者（78.9%））



<その他の内容>

【温暖化】

- 地球温暖化に関すること（2）
- エネルギーに関すること（2）

【生物多様性】

- 生物多様性に関すること（2）

【農業等】

- 遺伝子組み換え、農薬、化学肥料に関すること
- 農薬（CCD）に関すること
- 環境に優しい稲田等の害虫駆除
- 「総合実習」において農薬や化学肥料を最小限に抑えた安全安心な農産物の生産

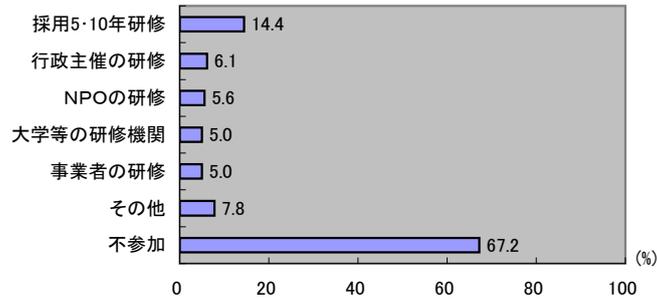
【全般】

- インターネットにより環境についてまとめさせた現代社会の授業で環境問題について扱っている。
 - 教科毎、単元毎で折に触れて環境問題を扱っている家庭科・保健体育科等の科目項目で取り上げたのみ
- 【その他】
- 騒音測定
 - 酸性雨調査
 - ESD
 - 環境権（身の回りの仕組みを例に）
 - 森林伐採、人工護岸、自然浄化作用
 - 河川のつけかえ、輪中、自然堤防、ハザードマップ

質問3 環境教育に関わる教員がどのような研修に参加しましたか？

採用5・10年目研修	26
行政主催の研修	11
環境NPO主催の研修	10
大学等の研究機関主催の研修	9
事業者主催の研修	9
その他	14
不参加	121
合計	200

(参加した 59者 (32.8%))



<その他の内容>

【行政による研修】

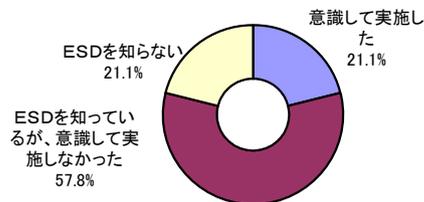
- 高等学校初任者研修
- 初任者研修における環境教育の研修
- 教員免許更新講座で「地球環境問題と環境教育」を受講
- 教頭研修によるリサイクルセンター研修
- 全教員を対象とした現職教育
- ESD実践カリキュラムの開発に関する研究協議会

【その他】

- 組合での研修に参加
- 研修会議で実施
- 外部講師による国際理解講演会
- 家庭科教育研究会
- 理科教員研修において諏訪湖におけるアオコの影響力
- 環境NPOと共同でエコフェスタの運営

質問4 環境教育を実施する際、環境教育がESDの一部であることを意識して実施しましたか？

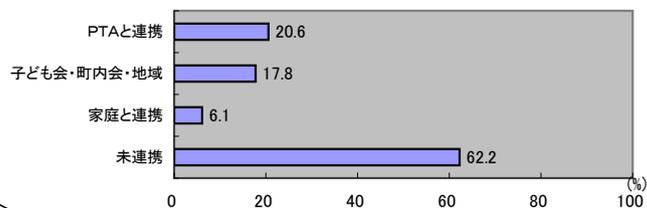
意識して実施した	38
ESDを知っているが、意識して実施しなかった	104
ESDを知らない	38
合計	180



質問5 環境教育を実施する際、PTAや家庭・地域と連携して実施しましたか？(複数回答可)

PTAと連携	37
子ども会・町内会など地域と連携	32
家庭と連携	11
未連携	112
合計	192

(実施した 68者 (37.8%))



<子ども会・町内会・地域の具体的な連携先>

【NPO・市民団体】

- ・祖父江ホテルの会
- ・塩田保存会 塩づくりの継承
- ・佐久島を美しくつくる会
- ・「家下川を美しくする会」
- ・地域のライオンズクラブと協力して川掃除を実施した。

【市町村】

- ・田原市エコエネ推進課
- ・清須市土木課、矢田・庄内川をきれいにする会
- ・碧南市の地域協働課と連携をして町の清掃活動を行った。
- ・町と連携して、地元の人々と駅前の花壇整備などの環境整備活動に参加。

【町内会・自治会・コミュニティ協議会】

- ・地元の自治会(4)、(清掃活動)
- ・豊田市逢妻地区のコミュニティ

【小中学校等】

- ・名古屋市立植田幼稚園
- ・中高連携事業における地元中学校
- ・近隣小中学校合同実施の清掃活動(ユートピアプラン)
- ・近隣の小学校とアユの放流及び川の清掃活動を実施した

【その他】

- ・老人会
- ・熱田児童館
- ・名古屋市トワイライトスクール
- ・地域の福祉施設と連携して環境美化作業を実施
- ・徳川園や保育園と連携した環境教育プログラムを实践

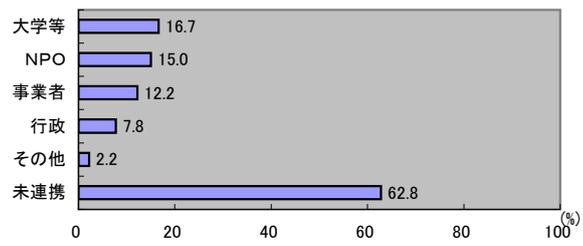
質問6 外部講師や外部の体験の場を利用する際、どのような主体と連携しましたか？（複数回答可）

大学等の教育機関	30
NPO（地域の方も含む）	27
事業者（企業や農林水産業者）	22
行政	14
その他	4
未連携	113
合計	210

（連携した 67者（37.2%））

< その他の内容 >

- ・安城市防火危険物安全協会
- ・生命の海科学館
- ・犬山市立東部中学校
- ・J I C A 中部

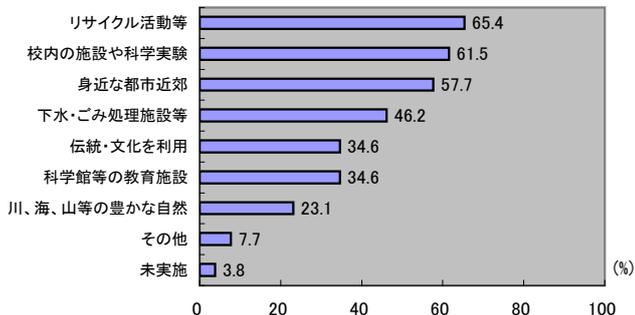


対象件数	回答件数	回答率
29	26	89.7%

質問1 どのような実体験を取り入れた環境学習を実施しましたか？（複数回答可）

リサイクル活動等	17
校内の施設や科学実験	16
身近な都市近郊の自然	15
下水・ごみ処理施設等	12
地域の農業や伝統・文化	9
科学館等の教育施設	9
川、海、山等の豊かな自然	6
その他	2
未実施	1
合計	87

(実施した 25者 (96.2%))



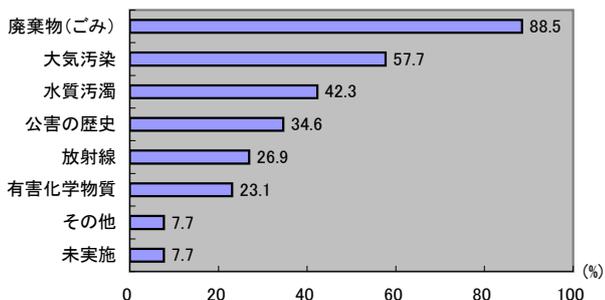
<その他の内容>

- ・児童生徒の実態から、環境に興味をもてるような学習内容に工夫しています。
- ・清掃・美化活動

質問2 環境における安全・安心に関することで、どのような授業を実施しましたか？（複数回答可）

廃棄物（ごみ）	23
大気汚染	15
水質汚濁	11
公害の歴史	9
放射線	7
有害化学物質（ダイオキシン類など）	6
その他	2
未実施	2
合計	75

(実施した 24者 (92.3%))



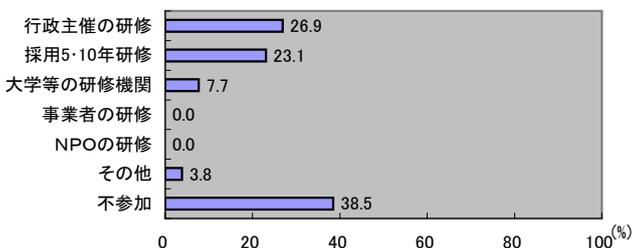
<その他の内容>

- ・ソーラーシステム
- ・児童生徒の実態から、興味をもてるような学習内容に工夫しています。

質問3 環境教育に関わる教員がどのような研修に参加しましたか？

採用5・10年目研修	6
行政主催の研修	6
大学等の研究機関主催の研修	2
事業者主催の研修	0
環境NPO主催の研修	0
その他	1
不参加	13
合計	28

(参加した 13者 (50%))

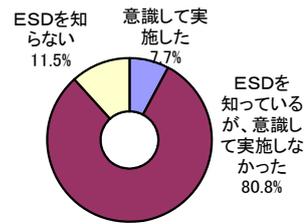


<その他の内容>

- ・初任者研修における環境教育の研修

質問4 環境教育がESDの一部であることを意識して実施しましたか？

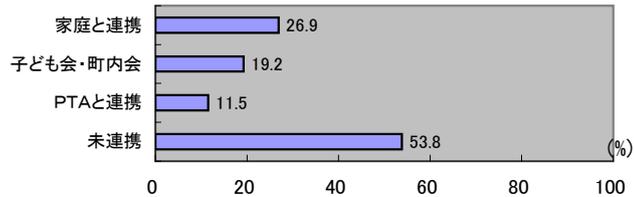
意識して実施した	2
ESDを知っているが、意識して実施しなかった	21
ESDを知らない	3
合計	26



質問5 環境教育を実施する際、PTAや家庭・地域と連携して実施しましたか？（複数回答可）

家庭と連携	7
子ども会・町内会など地域と連携	5
PTAと連携	3
未連携	14
合計	29

（実施した 12者（46.2%））



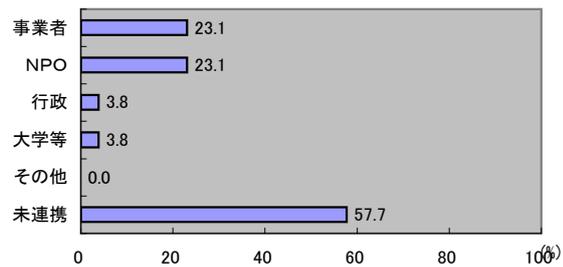
< 子ども会・町内会・地域の具体的な連携先 >

- ・公民館
- ・みよし市工業経済会
- ・近隣小中学校合同実施の清掃活動（ユートピアプラン）
- ・老人会、町内会、民生委員

質問6 外部講師や外部の体験の場を利用する際、どのような主体と連携しましたか？（複数回答可）

事業者（企業や農林水産業者）	6
NPO（地域の方も含む）	6
行政	1
大学等の教育機関	1
その他	0
未連携	15
合計	29

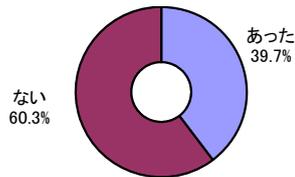
（実施した 11者（42.3%））



対象件数	回答件数	回答率
72	58	80.6%

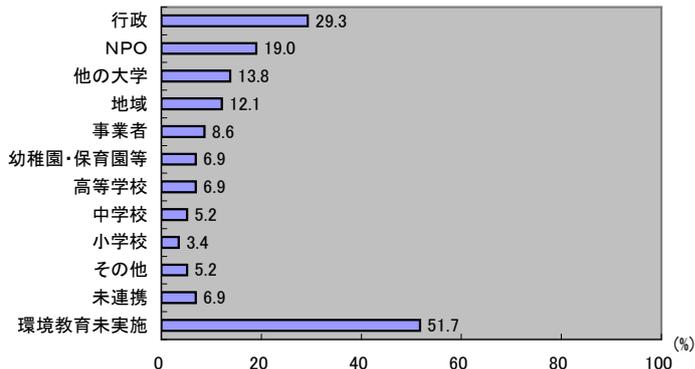
質問1 環境保全・環境教育やESDに関する研究を行っている研究室はありましたか？

あった	23
ない	35
合計	58



質問2 環境教育をどのような主体と連携しましたか？（複数回答可）

行政	17
NPO（国際NPO、NGOを含む）	11
他の大学	8
地域（子ども会、町内会）	7
事業者	5
幼稚園・保育園・認定こども園	4
高等学校	4
中学校	3
小学校	2
その他	3
未連携	4
環境教育未実施	30
合計	98



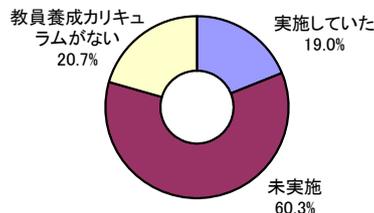
（連携した 24者（41.4%））
 （環境学習を実施した28者（48.3%））

- <その他の内容>
- ・公益財団法人、独立行政法人等
 - ・市民を対象とした生涯学習機会の提供等
 - ・国際的なESD地域拠点との連携（情報交換等）

質問3 教員養成に係るカリキュラムにおいて、環境教育の指導方法を教授するような授業を実施していましたか？

実施していた	11
未実施	35
教員養成カリキュラムがない	12
合計	58

（教員養成カリキュラムがある46者（79.3%））



5 参考

愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート（質問文）

（事業者向け）

問1 貴社では、昨年度、サービスや情報の提供などにおいて環境負荷の低減に関する取組を実施しましたか。

または、ライフサイクルの視点で環境に配慮した製品の提供を実施しましたか。

- 1 実施した
- 2 実施しなかった

（理由（例：コストが上がるため）

問2 事業活動における環境負荷の低減を社内のルールとして継続的に推進したり、環境保全活動を社外にも見えるようにしたりするためには環境マネジメントシステムの活用が有効で、国の環境学習等に関する基本方針においてもその必要性が示されています。

貴社では、昨年度時点で、どのような環境マネジメントシステムを実施していましたか。

- 1 ISO14001
- 2 エコアクション21
- 3 その他の外部認証システム（
- 4 独自システム
- 5 実施していなかった

（理由（例：導入・維持のコストが高い）

ISO14001

国際標準化機構（ISO）が国際規格として定めた環境マネジメントシステム

エコアクション21

環境省が中小事業者向けに策定した環境マネジメントシステム

その他の外部認証システムとしては、「エコステージ」、「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード」などがあります。

問3 経済活動は環境問題と深く関わっており、事業者が様々な場面で環境負荷の低減に努めることが求められています。このためには社員の環境に対する意識を高めることが重要と考えられています。

貴社において、昨年度、社員教育の中でどのように環境教育・環境学習を実施しましたか。

なお、環境教育・環境学習には、省エネや環境に配慮した製品づくりに関する学習も含まれます。(はいいくつでも)

1 外部講師を招聘して実施した

講師依頼先につけてください。(はいいくつでも)

ア コンサルを含む事業者

イ NPO

ウ 行政

エ その他

2 社員が講師となって実施した

3 eラーニングを実施した

4 日々の業務を通じて実施した

5 その他()

6 実施しなかった

理由(例:時間的余裕がない)

「外部の団体等が主催するセミナーや講演等への参加」等はその他にご記入ください。

問4 事業者による地域への貢献として、自身が持つノウハウ、人材、施設を活かした環境学習の開催、植樹活動や地域の清掃活動などの環境保全活動を実施している事業者も見られるようになりました。

貴社において、昨年度、どのような環境教育・環境学習や環境保全活動を実施しましたか。(はいいくつでも)

1 工場などの施設を利用した環境教育・環境学習

2 自然体験や自然観察会をととした環境教育・環境学習

3 出前講座などの座学による環境教育・環境学習

4 間伐などの里地里山保全活動

5 植樹活動

6 地域の清掃活動

7 地域のイベントにおけるブースの出展やパネル展示

8 山林や緑地等を環境教育・環境学習や環境保全活動の場所として提供

9 NPOや地域住民が実施する環境保全活動や環境教育・環境学習に対する財政的支援

10 その他()

11 実施しなかった

（理由（例：社員の負担になる）

）

問5 問4で1～10に を付けた方にお聞きします。

事業者による地域への貢献として、環境教育・環境学習や環境保全活動を実施する際、昨年度は、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。（ はいくつでも）

1 他の事業者

2 NPO（地域の専門家を含む）

3 行政

4 学校等

5 その他（

）

6 連携・協働して実施しなかった

（理由（例：連携先の情報がない）

）

「経済団体」等はその他にご記入ください。

(N P O向け)

問1 多くのNPOが、地域のリサイクル活動や自然保護活動などの環境保全活動及び自然観察会や水生生物調査などの環境学習を実施し、地域の環境に貢献しています。貴団体では、昨年度、どのような環境保全活動や環境学習を実施しましたか。
(はいくつでも)

- 1 工場などの施設を利用した環境学習
- 2 自然体験や自然観察会をおとした環境学習
- 3 出前講座などの座学による環境学習
- 4 間伐などの里地里山保全活動
- 5 植樹活動
- 6 地域のリサイクル活動
- 7 地域の清掃活動
- 8 地域のイベントにおけるブースの出展やパネル展示
- 9 山林や緑地等を環境学習や環境保全活動の場所として提供
- 10 その他 ()
- 11 実施しなかった
(理由(例: 依頼がなかった))

「放射能の除染活動」等はその他に記入ください。

問2 問1で1～10に をつけた団体の方にお聞きします。
環境保全活動や環境学習を昨年度に合計で何回実施しましたか。また、のべ何名の方が参加されましたか。

(合計回数) (のべ人数)

問3 問1で1～10に をつけた団体の方にお聞きします。
国の環境学習等に関する基本方針において、「環境教育に関する取組は、協働しながら取り組んでいくことが大切」と示されています。NPOが環境学習を推進する場合も、多様な主体と連携して行うことでより良い環境学習にすることが期待されます。貴団体は、昨年度、環境学習をどのような主体と連携して実施しましたか。
(はいくつでも)

- 1 地域 (子ども会、町内会等)
- 2 事業者
- 3 幼稚園・保育園・認定こども園
- 4 小学校

- 5 中学校
- 6 高校
- 7 大学
- 8 行政
- 9 他のNPO（国際NPO・NGOを含む）
- 10 その他（）
- 11 連携しなかった

{

理由（例：連携先の情報がなかった）

}

問4 環境学習を推進するためには、環境学習を受けたい人と環境学習を提供できる人とをつなぎ、調整するコーディネーターの活用が有効で、国の環境学習等に関する基本方針においてもその重要性が示されています。

NPOは地域の事情を良く知っていることから、コーディネーターの役割を担うことが期待されています。

貴団体は、昨年度、コーディネーターの役割（講師の派遣だけでなく、活動・学習内容の調整を含む）を実施しましたか。

- 1 実施した
- 2 実施しなかった

問5 愛知県では、ホームページ「あいち環境学習情報ライブラリー」
 (<http://www.aichi-kankyo-gakushu-plaza-unet.ocn.ne.jp/>)において、各主体が行う環境学習に関するイベント・講座や学べる場所等の情報を提供しています。

あなたは、当ホームページを閲覧したことがありますか。

- 1 閲覧したことがある
- 2 閲覧したことがない

(市町村向け)

問1 環境学習は、知識の習得だけでなく、自発的な行動に結びつけることが重要とされています。その自発的な行動は、愛着や関心のある地域の特性や課題をもとに環境学習を行うことが有効と考えられています。

貴市町村は、昨年度、地域の特性等を活かした環境学習として、どのようなことを実施しましたか。(はいくつでも)

- 1 地域の自然や文化や産業を活かしたもの
- 2 地域の環境問題を利用したもの
- 3 その他()
- 4 実施しなかった

問2 地域における環境学習を推進するためには、地域で環境学習を熱心に取り組んでいる事業者・NPO・学校等に対し活動を支援する方法もあります。

貴市町村は、昨年度、環境学習を行う各主体へどのような支援をしましたか。(はいくつでも)

- 1 活動費の一部を補助する
- 2 公民館や公共の学習施設の利用の便宜を図る
- 3 各主体の環境学習イベント等の開催状況などの広報を支援する
- 4 講師として市町村職員の派遣や専門家の紹介をする
- 5 その他()
- 6 実施しなかった

問3 地域における環境学習は、地域に詳しい方が企画・実施し、地域の特性や課題を取り扱った内容にすることが望ましいと考えられています。そのような環境学習を進めるうえで、環境学習指導者、コーディネーター、ファシリテーターを育成することが期待されています。

貴市町村では、昨年度、環境学習指導者等の人材育成についてどのような事業を実施しましたか。(はいくつでも)

- 1 環境指導者育成講座の実施
- 2 コーディネーター育成講座の実施
- 3 ファシリテーター育成講座の実施
- 4 その他()
- 5 実施しなかった

問4 市町村も事業体であり、事務や事業に伴う環境負荷の低減を図ることが求められています。このためには市町村の職員も環境に対する意識を高めることが重要と考えられています。

貴市町村は、昨年度、職員に対してどのように環境学習を実施しましたか。

(はいくつでも)

1 外部講師を招聘して実施した

講師依頼先に をつけてください。(はいくつでも)

ア コンサルを含む事業者

イ NPO

ウ 国や県

エ その他

2 職員が講師となって実施した

3 eラーニングを実施した

4 その他()

5 実施しなかった

「外部の団体等が主催するセミナーや講演等への参加」等はその他にご記入ください。

問5 愛知県では環境保全活動、環境教育、及び協働取組を計画的に推進するため、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」の第8条に基づき、平成25年2月に「愛知県環境学習等行動計画」を策定しました。同法によると、市町村においても環境学習等を促進するための行動計画を策定するよう努めることとされています。

貴市町村において、環境学習に関する行動計画等を策定していますか。

1 環境教育等促進法に基づく計画を策定、または策定途中である

2 環境教育等促進法に基づく計画の策定を検討している

3 環境教育促進法に基づくものではないが、環境学習の計画や方針等を定めたものがある(他の計画の一部に盛り込んだものも含む)

4 環境教育促進法に基づくものではないが、環境学習の計画や方針等の策定を検討している

5 環境学習の計画や方針等を策定してなく、策定する予定もない

(幼稚園向け)

問1 幼児期の環境教育として、自然に対する感性や環境を大切に思う心を養うため、目で見、耳で聞き、肌で触れ、鼻で嗅ぎ、口にして味わうといった五感を使うことができる自然体験を積極的に取り組むことが重要とされています。

貴園では、昨年度、このような自然体験をどれくらい実施しましたか。

- 1 積極的に実施した
- 2 あまり積極的に実施しなかった
- 3 実施しなかった

問2 幼児教育において自然体験は継続的に実施することが望ましいと考えられていますが、貴園では、昨年度、自然体験をどのような場所で実施しましたか。

(はいくつでも)

- 1 園内の花壇やビオトープ等
- 2 近隣の公園、川、林などの地域の自然 (週・月・年 回程度)
- 3 その他()
- 4 継続的に実施しなかった

問3 昨年度、教員が環境教育や自然体験に関する研修に参加しましたか。

- 1 参加した(具体的に)
- 2 参加しなかった

問4 環境教育や自然体験で外部講師や外部の体験の場を利用する際、昨年度、どのような主体と連携しましたか。(はいくつでも)

- 1 事業者
- 2 NPO(地域の方も含む)
- 3 行政
- 4 大学などの教育機関
- 5 その他()

(小中高等学校、特別支援学校向け)

問1 国の環境学習等に関する基本方針では、「何よりも「行動」に結びつくための環境教育・環境学習が必要」と示されています。また、環境教育に求められる要素として「自然体験、社会体験、生活体験など実体験を通じた様々な経験をする機会を設けること」と示されています。

貴校は、昨年度、どのような実体験を取り入れた環境学習を実施しましたか。

(はいくつでも)

- 1 校内の施設(太陽光発電等の設備、花壇、ビオトープ等)や科学実験を利用したもの
- 2 身近な公園、川、林、田畑など都市近郊の自然を利用したもの
- 3 上流・中流の川、海、山など豊かな自然を利用したもの
- 4 下水処理場、ごみ処理施設、工場などを利用したもの
- 5 科学館・博物館などの教育施設を利用したもの
- 6 地域の農業や伝統・文化を利用したもの(炭焼き、竹細工づくり、祭りなど)
- 7 学校や地域で行うリサイクル活動などを利用したもの
- 8 その他()
- 9 実施しなかった

問2 環境学習を実施するうえで、公害問題や放射線など私たちの暮らしや健康の安全・安心を脅かしかねない問題についても学習することが期待されています。

貴校は、昨年度、環境における安全・安心に関することで、どのような授業を実施しましたか。(はいくつでも)

- 1 公害の歴史に関すること
- 2 水質汚濁に関すること
- 3 大気汚染に関すること
- 4 廃棄物(ごみ)に関すること
- 5 有害化学物質(ダイオキシン類やアスベストなど)に関すること
- 6 放射線に関すること
- 7 その他()
- 8 実施しなかった

問3 環境教育をより推進するために、環境教育を担当する教員向けの研修等が様々な場面で実施されることが期待されています。

貴校では、昨年度、環境教育に関わる教員がどのような研修に参加しましたか。

(はいくつでも)

- 1 採用5・10年経験者研修における環境教育の研修
- 2 市町村、県、国が主催する環境教育の研修

- 3 大学など研究機関が主催する環境教育の研修
- 4 環境NPOが主催する環境教育の研修
- 5 事業者が主催する環境教育の研修
- 6 その他()
- 7 環境教育の研修には参加しなかった

問4 2014年に愛知県でESDユネスコ世界会議が開催されます。ESD(持続可能な開発のための教育)は持続可能な社会を担う人材を育成するための教育で、様々な分野を対象としていますが、環境も主要な分野となっています。

貴校においては、昨年度、環境教育を実施する際、環境教育がESDの一部であることを意識して実施しましたか。

- 1 意識して実施した
- 2 ESDは知っているが、意識して実施しなかった
- 3 ESDを知らない

問5 環境教育は、学校の中だけでなく、PTAや家庭・地域と連携することにより、教育内容の広がりを持たせることが期待されています。

貴校は、昨年度、環境教育を実施する際、PTAや家庭・地域と連携して実施しましたか。(例：地域ぐるみの身近な川の水質浄化活動など)(はいくつでも)

- 1 PTAと連携して実施した
- 2 家庭と連携して実施した
- 3 子ども会や町内会など地域と連携して実施した
(子ども会や町内会など組織を具体的に)
- 4 いずれとも連携しなかった

問6 環境教育を実施する際、学校が事業者、NPO(地域の方も含む)、行政等と連携することでより専門的で発展的な学習につなげたり、教員に対する過度の負担を減らす効果を期待することができます。

貴校では、昨年度、外部講師や外部の体験の場を利用する際、どのような主体と連携しましたか。(はいくつでも)

- 1 事業者(企業や農林水産業者)
- 2 NPO(地域の方も含む)
- 3 行政
- 4 大学などの教育機関
- 5 その他()
- 6 連携しなかった

(大学向け)

問1 大学においては、各大学の特性に応じ、「環境保全」のほか、「環境教育」や「持続可能な開発のための教育(E S D)」のための教育及び研究を行い、優れた教材やカリキュラムの開発に努めるとともに、それらの成果を教育の場で活用することが期待されています。

貴大学において、昨年度時点で、環境保全・環境教育やE S Dに関する研究を行っている研究室はありましたか。

1 あった場合は研究室名と研究テーマをお書きください。

()

2 ない

問2 環境教育を推進するうえで、大学は、自身を持つノウハウや人材を地域、事業者、学校等で行われる環境教育に活用し、より発展的な学習にすることが期待されています。

貴大学は、昨年度、環境教育をどのような主体と連携して実施しましたか。

(はいくつでも)

- 1 地域(子ども会、町内会等)
- 2 事業者
- 3 N P O (国際N P O・N G Oを含む)
- 4 幼稚園・保育園・認定こども園
- 5 小学校
- 6 中学校
- 7 高校
- 8 他の大学
- 9 行政
- 10 その他()
- 11 連携・協働せず、単独で環境教育を実施した
- 12 環境教育を実施しなかった

問3 環境教育を推進するためには、学校等において環境教育を実施できる教員の養成が期待されており、国の環境学習等に関する基本方針においてもその必要性が示されて

います。

貴大学における教員養成に係るカリキュラムにおいて、昨年度時点で、環境教育の指導方法を教授するような授業を実施していましたか。

- 1 実施していた
- 2 実施していなかった
- 3 教員養成に係るカリキュラムがない